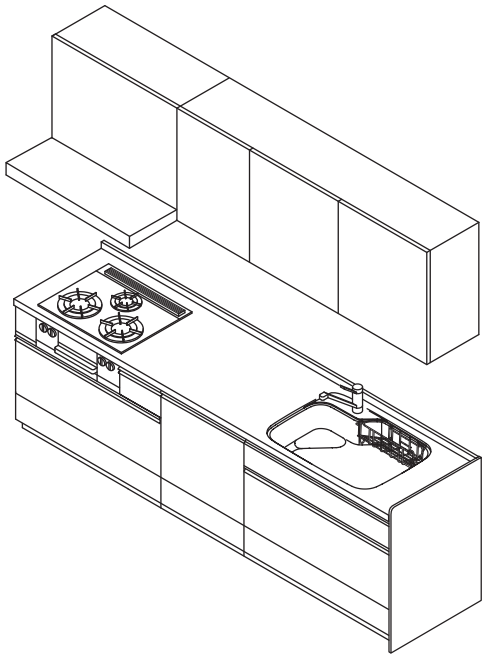
クリナップ®
キッチンから、笑顔をつくろう

システムキッチン
取扱説明書　保証書付

CENTRO



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
ご利用の前に・・・・・・・・・・・・・・4
安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・8
キッチン全体の使い方・・・・・・・・20
調理アイテムの使い方・・・・・・・・22
収納アイテムの使い方
- キャビネット -　・・・・34
- 吊戸棚 -　・・・・・・・・56
- キッチン周辺収納 -　・・62
- その他部材 -　・・・・・67
対面型キッチン・その他部材・・・・68
こんなときは・・・・・・・・・・・・・70
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・71

CENTRO（セントロ）の特徴

CENTRO（セントロ）は、調理機能、収納機能、デザインなど、様々な魅力を備えたシステムキッチンです。「食」をもっと大切にしたいという想いのもと、究極の道具としてカタチにしたキッチンには、様々な特徴があります。

清潔で丈夫なステンレスキャビネット

ステンレスはさびにくく、カビがつきにくい衛生的な素材です。また、熱や衝撃にも強いので、水や火を使うキッチンのキャビネットには最適です。

参照 3.1. キッチン全体の使い方　P.20

傷がつきにくいエンボス加工の美コートワークトップ、ステンレスシンク

美コートワークトップ、ステンレスシンクには傷がつきにくく、目立ちにくいエンボス加工を施しています。

参照 4.1. ワークトップ・シンク　P.22

セラミックワークトップ

素材特有の色柄の美しさと耐久性が魅力です。変色・熱・傷・汚れに強い磁器、ガラス、天然水晶などの素材で構成されています。

参照 4.1. ワークトップ・シンク　P.22

美コートワークトップ、ステンレスシンクはセラミック系特殊コーティング

美コートワークトップ、ステンレスシンクはしつこい汚れも簡単に落とせる、特殊コーティングを施しています。

参照 4.1. ワークトップ・シンク　P.22

足元のスペースを有効に使える“フロアコンテナ”

クリナップが開発した、自慢の足元収納スペースです。置き場所に困りがちなストック品や、季節使いの調理器具をまとめてしまっておけます。

もくじ

本書について

- キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご利用の商品と異なる場合があります。
- 本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- 「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。

1. ご利用の前に
1.1. 各アイテムのなまえ 4
1.2. お手入れスケジュール 6
1.3. 定期的な点検 7

2. 安全上の注意
2.1. 安全上の注意 8
2.2. 重量に関する規定 18

3. キッチン全体の使い方
3.1. キッチン全体の使い方 20

4. 調理アイテムの使い方
4.1. ワークトップ・シンク 22
4.2. 排水口まわり 30
4.3. シンク用アクセサリーパーツ 32

5. 収納アイテムの使い方 - キャビネット
5.1. キャビネットの収納例 34
5.2. ツールボックス 36
5.3. シャローパレット 37
5.4. 包丁差し 38
5.5. コンロキャビネット・コンロ横引出し . . . 40
5.6. コーナーキャビネット（ワゴンタイプ） . . 41
5.7. ボトル収納スライドキャビネット 42
5.8. 網カゴスライドキャビネット 43
5.9. ライザー付ベースキャビネット 44
5.10. 昇降式道具収納ワゴン用ベースキャビネット . 45
5.11. 家電収納タイプベースキャビネット . . . 46
5.12. 開き扉・引出し・棚板 47
5.13. キャビネット用オプションパーツ 54

6. 収納アイテムの使い方 - 吊戸棚
6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた 56
6.2. ムーブダウン吊戸棚 57
6.3. プルダウン吊戸棚 58
6.4. ハンドムーブ 60

7. 収納アイテムの使い方 - キッチン周辺収納
7.1. システムエリア収納 62
7.2. リサイクルゴミワゴン 63
7.3. 片面フロア・片面ハイフロア・片面カップボード・コーナーパントリー . . 64
7.4. リビング収納 66

8. 収納アイテムの使い方 - その他部材
8.1. プッシュラッチ・扉開放防止部品 67

9. 対面型キッチン・その他部材
9.1. フロントスクリーン 68
9.2. 照明器具 68
9.3. 壁パネル・アシストラック 69

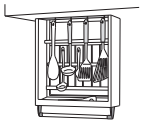
10. こんなときは
10.1. Q&A 70

保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71

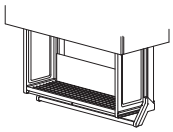
1.1. 各アイテムのなまえ

収納アイテム

吊戸棚


プルダウン

ムーブダウン


ハンドムーブ

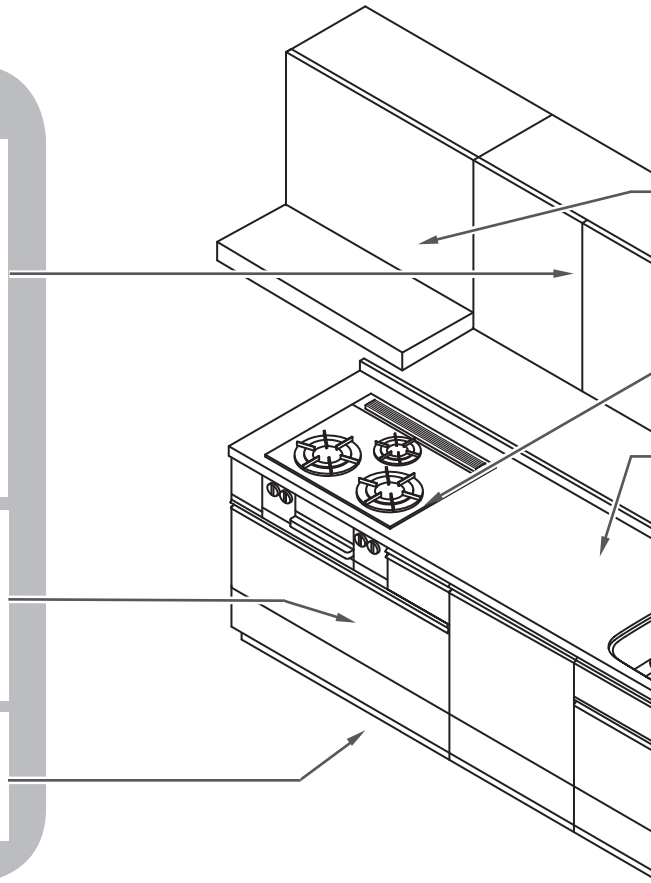
参照
- 安全上の注意：吊戸棚　P.14 ～ P.15
- 重量に関する規定：プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ　P.18
- 使い方：収納アイテムの使い方－吊戸棚　P.56 ～ P.61

キャビネット

参照
- 安全上の注意：キャビネット　P.10 ～ P.11
- 重量に関する規定：キャビネット　P.18
- 使い方：キャビネット　P.36 ～ P.55
- 収納例：キャビネットの収納例　P.34 ～ P.35

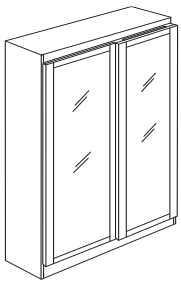
フロアコンテナ

参照
- 安全上の注意：フロアコンテナ　P.12
- 収納例：キャビネットの収納例　P.34 ～ P.35

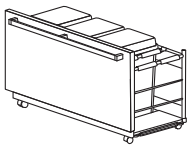


各アイテムの名称と参照先は、図のとおりです。

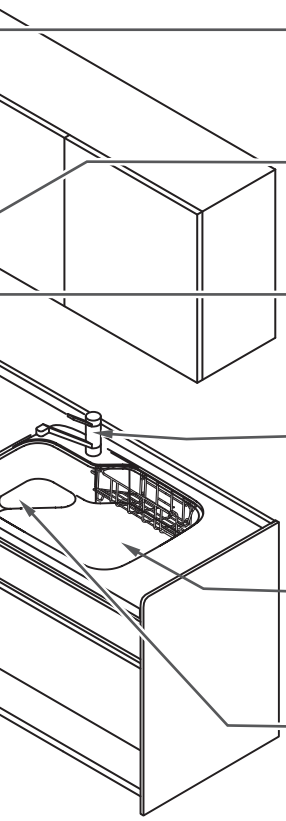
キッチン周辺収納


システムエリア収納

参照
- 安全上の注意：キッチン周辺収納　P.16
- 重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.19
- 使い方：システムエリア収納　P.62


リサイクルゴミワゴン

参照
- 安全上の注意：リサイクルゴミワゴン　P.12
- 重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.19
- 使い方：リサイクルゴミワゴン　P.63



調理アイテム

レンジフード
参照 ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

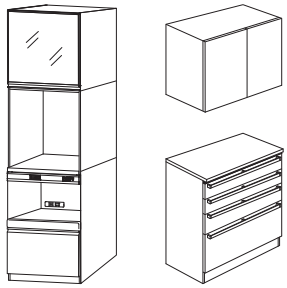
調理機器
参照 ・安全上の注意：調理機器・組込機器類　P.10
・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

ワークトップ
参照 ・使い方：ワークトップ・シンク　P.22～P.29

水栓
参照 ・安全上の注意：水栓　P.10
・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

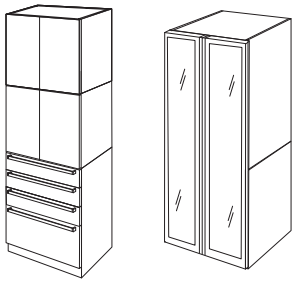
シンク
参照 ・安全上の注意：シンク　P.10
・使い方：ワークトップ・シンク　P.22～P.29

排水口
参照 ・使い方：排水口　P.30～P.31



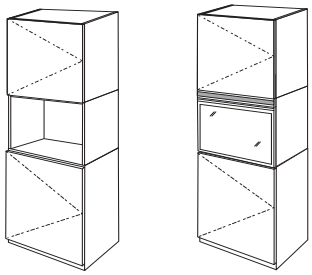
片面ハイフロア下台・中台・上台

参照
・安全上の注意：キッチン周辺収納　P.16
・重量に関する規定：キッチン周辺収納　P.19
・使い方：片面ハイフロア下台、
中台、上台　P.64～P.65



片面カップボード

参照
・安全上の注意：
キッチン周辺収納　P.16
・重量に関する規定：
キッチン周辺収納　P.19
・使い方：片面カップボード
P.64～P.65



ウォール家電収納

参照
・安全上の注意：
キッチン周辺収納　P.16
・重量に関する規定：
キッチン周辺収納　P.19
・使い方：ウォール家電収納
P.64～P.65

1.2. お手入れスケジュール

お手入れスケジュールのすすめ

- 毎日使うキッチンは、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- 調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期　間	お手入れ内容
毎日	・ワークトップ：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。 ・排水口：浅型カゴにたまったゴミを捨てる。 ・引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。 ・調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・調理機器のグリル：使用後、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。 ・レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。
週一度 または 汚れてきたら	・ワークトップ･シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。 ・水栓：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。 ・引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。 ・壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
月一度	・排水口：防臭パイプを取り出して、中までしっかり洗う。 ・排水口：洗い桶１～２杯（5～10ℓ）の水を勢いよく流す。 ・レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
半年～年一度	・レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。 ・浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。

MEMO　洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ワークトップやシンクの水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

  参照　ワークトップ、シンク　P.22～29、Q＆A　P. 70

- ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- 水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

  参照　ガスコンロ、水栓について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

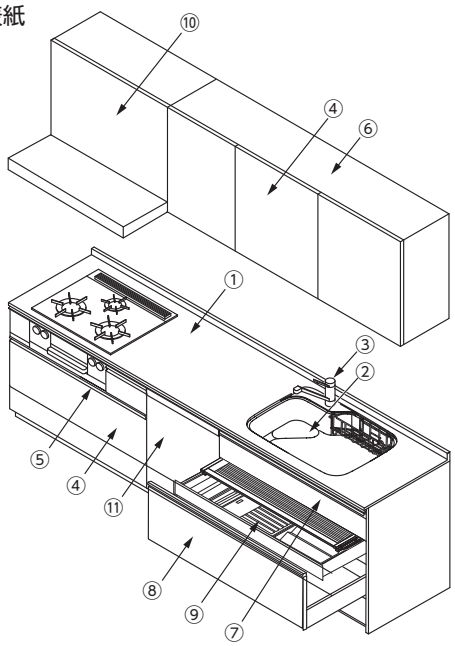
- 汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなります。
- 床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

1.3. 定期的な点検

定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。
水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。
また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照　アフターサービスのご用命　裏表紙



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財等の破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーヘッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財等の破損
④扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
⑥吊戸棚	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑦キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財等の破損
⑧引出し	安全点検	引出しが変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑨包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターのガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ点検	食器洗い乾燥機周りに水漏れがないか確認してください。	水漏れ	水漏れによる家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照　アフターサービスのご用命　裏表紙

2.1. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や損害に結びつくものです。
  安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。
⚠ 注意	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。

禁止	この行為は禁止されています。	注意	この行為は、注意が必要です。
必ず実行	この行為を必ず実行してください。	手をはさまれないよう注意	引出しや扉などで手をはさむことで、傷害が起こる可能性があります。
接触禁止	特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。	発火注意	特定の条件で発火の恐れがあります。
ぬれ手禁止	製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。	高温注意	特定の条件で、高温による傷害の恐れがあります。

⚠ 警告

発火注意

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。

発火注意

調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。

発火注意

調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。

発火注意

調理機器を使っているときは、その場を離れない。

高温になりすぎて、火災の原因になります。

発火注意

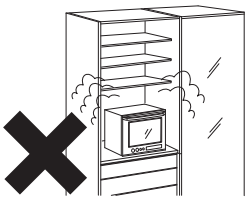
キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱調理機器を置いて使用しない。

キャビネットが加熱され、火災の原因になります。

発火注意

システムエリア収納内に蒸気を発生させる電気製品を置いて使用しない。

キャビネットの変形・変色や、火災の原因になります。



必ず実行

キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

⚠注意

キッチン全体

禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に木口部への衝撃にはご注意ください。
また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。

禁止

万が一、ガラスが破損 (ひび、欠けなど) したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。
ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターまで商品の交換を依頼してください。

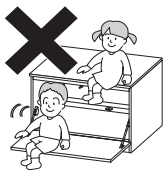
禁止

取っ手、扉、引出し、化粧板、棚、ラック、ワゴン、リンクカウンターなどにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

破損し、ケガをする恐れがあります。

スイングダウン扉

ワゴン


リビング収納

リンクカウンター

吊戸棚

引出し

必ず実行

引出しの取り外し、取り付け、調整、またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。

禁止

スライド台には熱い鍋や重いもの、包丁などを載せない。

鍋や包丁などが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。

必ず実行

床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせ、ケガをする恐れがあります。特に、対面キッチンのコンロ側が通路になっているキッチンやダイニング側に注意してください。

禁止

ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

故障や破損の原因になります。

禁止

プッシュオープンの扉に寄りかかったり、蹴ったりしない。

意図せず扉が開き、ケガをする恐れがあります。

2.1. 安全上の注意

調理機器・組込機器類

接触禁止

調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。

シンク

禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない。（※JLシンクを除く）

まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。

禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。また、排水管のつまりの原因になります。

⚠注意

水栓

必ず実行

混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、小さいお子様は注意してください。

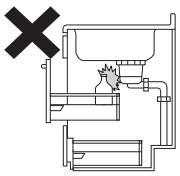
キャビネット

●シンクキャビネット、コンロキャビネット

必ず実行

シンク下の引出しに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

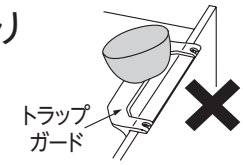
接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



禁止

トラップガードの位置を移動させたり、取り外したりしない。トラップガードの上に収納物を載せない。

収納物と排水器具が接触し、漏水の恐れがあります。



必ず実行

ロック付包丁差しの段差に包丁の柄が掛かるように、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。

禁止

ロック付斜め包丁差しを固定しているねじは外さない。

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。

必ず実行

ロック付斜め包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。

必ず実行

ロック付斜め包丁差しを取り付けるときはピン、底板の突起が正しい位置にはまっていることを確認する。

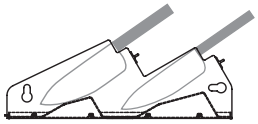
包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。

参照　5.4. 包丁差し　P.38 ～ 39

必ず実行

包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。
特に、右図のような斜めに包丁を入れるタイプの場合は、段差に柄の部分が掛かるように収納してください。



禁止

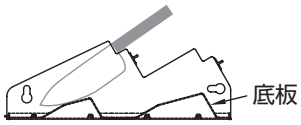
包丁を無理に引っ張らない。

勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けないときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。

必ず実行

ロック付斜め包丁差しは必ず底板を取り付けて使用する。

底板の上に刃を載せて使用してください。包丁の刃が露出し、ケガをする恐れがあります。



禁止

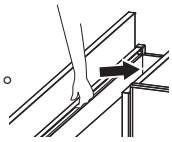
包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。

手をはさまれないよう注意

ツールボックスを操作する際は、必ず手掛け部分を持つ。

手掛け以外の部分を持って操作すると、他の部品に手や指をはさむ恐れがあります。



禁止

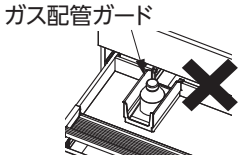
ガス配管ガードは絶対に外さない。

ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。

禁止

ガス配管ガードの中にものを入れない。

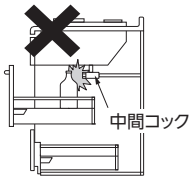
ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



必ず実行

コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。



2.1. 安全上の注意

⚠注意

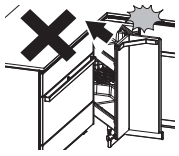
キャビネット

●コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）、昇降式道具収納ワゴン、リサイクルゴミワゴン

禁止

ワゴンを勢いよく動かさない。

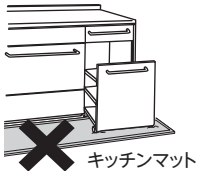
ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかり支えながら移動してください。



禁止

ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。

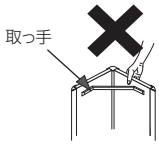
ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。



手をはさまれないよう注意

ワゴンをキャビネットから出し入れする場合は、必ず取っ手部分を持つ。

扉部分などを持って出し入れすると、手や指をはさむ恐れがあります。



禁止

ワゴンに、沸騰したやかんや鍋などを直接載せない。

やけどやワゴンの変形、破損の原因になります。

必ず実行

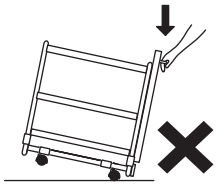
ワゴンを、床下収納庫など床に段差のある部分で移動する場合は、特に、手でしっかり支えながら移動する。

転倒する恐れがあります。

禁止

ワゴンで遊んだり、寄りかかったりしない。

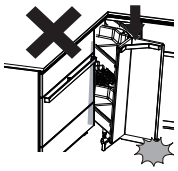
ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。



禁止

コーナーワゴンの収納量が少ない場合に、取っ手を握りながら下方向に力を加えない。

後方のキャスター持ち上がり、ケガをしたり、床を傷つける恐れがあります。
水平方向に力を加え、ゆっくり操作してください。



●フロアコンテナ

禁止

フロアコンテナを引き出したまま作業しない。また、足場代わりにしない。

足をぶつけたり、転倒によるケガや、フロアコンテナが破損する恐れがあります。

注意

フロアコンテナを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業者やお子様など、周囲の人にも注意する。

足の指をはさむ恐れがあります。

禁止

引出しを開けたまま、フロアコンテナを引き出さない。

指をはさんだり、引出しやフロアコンテナが破損する恐れがあります。

●開き扉、引出し、棚板

必ず実行

開き扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的にご確認ください。

参照 5.12. 開き扉・引出し前板・棚板　P.47 ～ P.53

禁止

開き扉開閉時は、丁番には触れないようにする。

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

禁止

引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手をかけない。

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。

禁止

扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

2.1. 安全上の注意

⚠注意

キャビネット

禁止

扉を大きく開けすぎない。

丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

必ず実行

棚受けダボは確実に奥まで差し込む。

棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

吊戸棚

●プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚共通、ハンドムーブ

接触禁止

操作部以外に手をかけたり、機構部や本体のすき間に手を入れない。

手をはさむ恐れがあります。

禁止

収納物がはみ出したまま昇降させない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットが破損する恐れがあります。

禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、ムーブダウン吊戸棚の場合は高さガイドバーより高いものを収納しないでください。

禁止

勢いよく昇降しない。

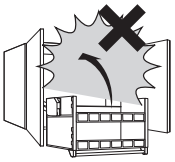
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。

必ず実行

バネ切り替えレバーは、重量に対して適切にセットする。

収納ラックが勢いよく戻ったり、急降下して収納物が落下したり、収納ラックが変形・落下したりして、ケガをする恐れがあります。

参照 6.2. ムーブダウン吊戸棚 P.57



禁止

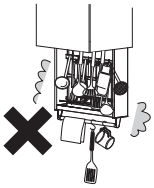
調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。

頭などをぶつける恐れがあります。

禁止

操作レバーにものを引っ掛けない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

棚は降ろし切った状態で使用する。

収納物が落下し、破片でケガをする恐れがあります。

2.1. 安全上の注意

⚠注意

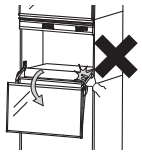
キッチン周辺収納

●扉付家電収納

手をはさまれないよう注意

スイングダウン扉を降ろす際は、機構部に手を入れない。

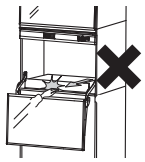
手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



手をはさまれないよう注意

スイングダウン扉に手を掛けたままスライド台を引き出さない。また、スライド台の下側を持って引き出さない。

手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



●システムエリア収納

禁止

扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。また、機構部を手や足で触らない。

扉と扉の間に手をはさんだり、機構部で手や足をはさんでケガをする恐れがあります。

対面型キッチン

禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。

必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、ワークトップから床面に油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐ拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。

●フロントスクリーン、防熱板

接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンや防熱板に手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。

禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかからない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。

禁止

万が一、ガラスが破損 (ひび、欠けなど) したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。
ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターまで商品の交換を依頼してください。

その他部材

●コンセント

必ず実行

時々電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにする。

ほこりがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

●照明器具

必ず実行

照明が取付器具に確実に取り付けられているか確認する。

照明が脱落して破損し、ケガをする恐れがあります。

禁止

点灯中や消灯直後(約５分間)は照明の表面が高温になっているので、素手で触らない。

お手入れをする場合は照明のスイッチを切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

洗剤

必ず実行

台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

禁止

台所には、固形または粉末の塩素系洗浄剤(ヌメリ取り剤など)を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。

禁止

台所では成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

2.2. 重量に関する規定

⚠注意

収納アイテム

禁止

収納アイテムに、収納物をつめ込みすぎない。

引出しや棚板の変形の原因になります。

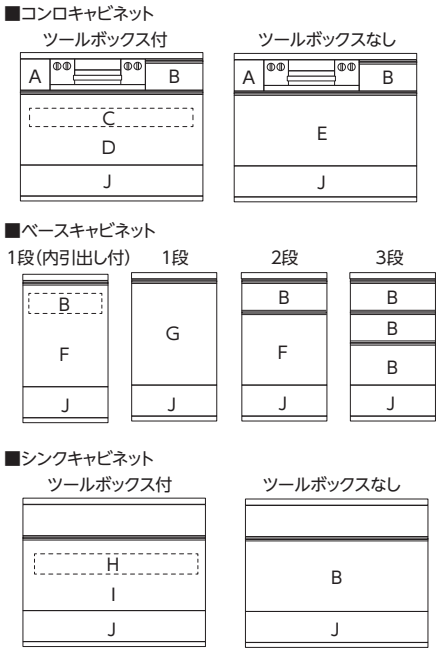
●キャビネット、棚板

必ず実行

キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

部位			耐荷重
A	コンロ横引出し	ー	2 kg
B	引出し	ー	20 kg
C	ツールボックス（コンロキャビネット）本体	手前	2 kg
		奥	8 kg
D	ツールボックス（コンロキャビネット）引出し	ー	30 kg
E	引出し	ー	40 kg
F	引出し	W300、W450	20 kg
		W600～	40 kg
G	引出し	W300	20 kg
		W450	40 kg
H	ツールボックス（シンクキャビネット）本体	ー	5 kg
I	ツールボックス（シンクキャビネット）引出し	ー	15 kg
J	フロアコンテナ	ー	20 kg
スライドキャビネット		網カゴ	10 kg
		ボトル収納	20 kg
棚板		1 枚	20 Kg
底板 ※仕切り板が入っている場合でも、底板一枚です。ただし、キャビネットが分割している場合は、底板は一枚ずつになります。		1 枚	20 kg



MEMO 20 kg ＝直径 26 ㎝の大皿 25 枚以内が目安です。

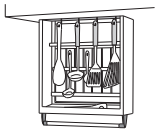
●プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ

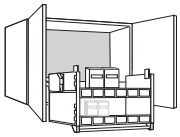
必ず実行

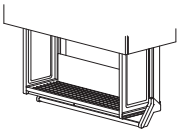
昇降ラック付吊戸棚の収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形や落下の原因となり、ケガをする恐れがあります。

部位		耐荷重
プルダウン吊戸棚	レードルラックタイプ（間□ 45 ㎝）	1 kg
	調味料棚タイプ（間□ 45 ㎝）	2 kg
	調味料棚タイプ（間□ 30 ㎝）	1.5 kg
ムーブダウン吊戸棚		15 kg
ハンドムーブ		8 kg


プルダウン吊戸棚


ムーブダウン吊戸棚


ハンドムーブ

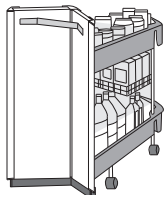
●コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）、昇降式道具収納ワゴン

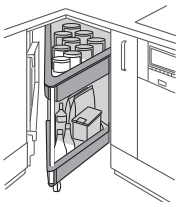
必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

特に、ワゴンの場合、下記の限度以上に収納したり、上段に重いものを載せてかたよったりすると、転倒する恐れがあります。

部位		耐荷重
コーナーワゴン	上段、下段それぞれ	10 kg
	中段の網棚	5 kg
デルタトレー	上段、下段それぞれ	10 kg
昇降式道具収納ワゴン	上段、中段、下段それぞれ	10 kg


コーナーワゴン


デルタトレー

キッチン周辺収納

必ず実行

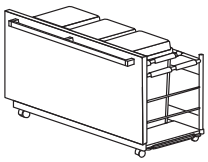
収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

限度以上の収納をすると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

部位		耐荷重 キャビネットの奥行 45㎝	耐荷重 キャビネットの奥行 65㎝
全般	棚板	20 kg	
	引出し①浅型※1	20 kg	
	引出し②深型※1	20 kg	40 kg
家電収納庫	スライド台	15 kg	
	引出し（サーボなし）	20 kg	
	引出し（サーボ付）	20 kg	40 kg
リサイクルゴミワゴン	全体	20 kg	
	ポリ袋ストッパー	5 kg	
	ゴミ箱	5 kg（1 個当たり）	
リビング収納	カウンター	90 kg	
	棚板	20 kg	

※1　引出し前板の高さが 20㎝以下のものは浅型、それ以上のものは深型に該当します。
※2　片面ハイフロアコーナー用､コーナーパントリーは｢全般｣の奥行 65㎝を参照してください。

家電収納庫


リサイクルゴミワゴン

リビング収納

対面型キッチン、その他部材

必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

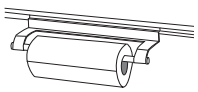
限度以上の収納をすると、変形する恐れがあります。

部位		耐荷重
アシストラック	調味料ラック	3 kg
	ふきんラック、まな板ラック	2 kg
	ハンギングラック	4 kg
	ペーパーラック	2 kg

調味料ラック

ふきんラック

ハンギングラック


ペーパーラック

3.1. キッチン全体の使い方

使用上の注意

●ステンレス部品（ステンレスワークトップ、ステンレス扉、引出し底板等）

禁止

ぬれた包丁・塩・醤油、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。

禁止

ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

●樹脂部品（人工大理石ワークトップ、プラスチック製品等）

禁止

樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油煙などの油成分が付着したままで放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ず拭き取ってください。

禁止

樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

●開き扉・引出し・化粧板・棚板・取っ手・キャビネット

禁止

家具用ワックス、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

禁止

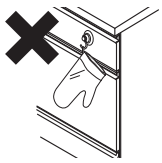
水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。

禁止

開き扉・引出し前板やパネルなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



禁止

開き扉・引出し前板やパネルなどをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

禁止

ガラス扉、ガラス棚板の裏面にはガラスクリーナーを使わない。

ガラス扉、ガラス棚板裏面は飛散防止フィルム貼りです。表面が変質・変色する恐れがあります。

●その他

必ず実行

キャビネット内に洗剤等を保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。

注意

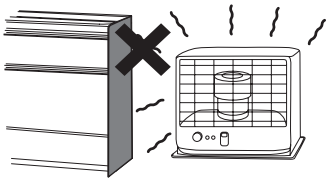
室内の温度や調理機器の加熱によってコンロキャビネットやウォール家電収納および隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料などの保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料に記載の保存方法に従ってください。

禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



注意

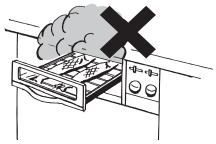
ワークトップ、カウンター上に炊飯器などの蒸気を発生する機器を置いて使う場合、吊戸棚に直接蒸気がかからないように留意する。

結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。

禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま使わない。

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・扉・引出し・棚板・取っ手

通常のお手入れ

・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注 意

- ステンレス扉の場合は、汚れや指紋をつきにくくするためにコーティングが施されています。お手入れ、汚れ落としは、傷をつけないよう注意してください。
- 開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォーム（例：レック株式会社 激落ちくん）や金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

MEMO

- 引出しの色が変わって見える場合がありますが、異常ではありません。
- 引出しの色は照明などの影響で色味が変わって見えることがあります。

4.1. ワークトップ・シンク

シンクはステンレス、ワークトップにはステンレス、人工大理石（アクリストン）、セラミックの 3 種類があります。

- ステンレス：汚れに強く丈夫です。美コートワークトップとステンレスシンクには美コート (セラミック系特殊コーティング)※1 と、精巧なエンボス加工※2 を施しています。美コートは油汚れが落としやすく、お手入れが簡単です。エンボス加工は、一般的な使用では傷はつきにくく、傷がついても目立ちにくいです。

MEMO
※ 1　L 型美コートワークトップのつなぎ目部分には、美コートを施していません。
※ 2　ワークトップの前縁部分、バックガード部分、L 型美コートワークトップのつなぎ目部分、シンク側面、クラフツマンデッキシンクの上面・側面・デッキ部はエンボス加工ではないので、傷の目立ち具合が異なります。

- 人工大理石（アクリストン）：美しさと丈夫さを兼ね備え、豊富な色のバリエーションがあります。
- セラミック：素材特有の色柄の美しさと耐久性が魅力です。変色・熱・傷・汚れに強い磁器、ガラス、天然水晶などの素材で構成されています。

使用上の注意

●ワークトップ共通

禁止

硫酸・塩酸などの強酸、「酸性」の表示のある洗浄剤、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。

変質・変色・サビの原因になります。

禁止

粒子の粗いクレンザー類（研磨剤 20%より粗いもの）や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れや、表面のつやが変わる恐れがあります。

禁止

ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。

禁止

強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。

禁止

ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれが原因）などの恐れがあります。万一、置く場合は鍋敷き（厚さ 1㎝以上）などを使用してください。

禁止

ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面波打ちの原因になります。

禁止

ワークトップの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

●ステンレスワークトップ、ステンレスシンク
（美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ、シンクは除く）

必ず実行

ヘアライン、鏡面仕上げが施されている場合は、食器や調理器具の置き方に注意する。

加工の目の方向と、垂直方向に傷がつくと目立ちます。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用ください。

●**美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ、シンク**

禁止

研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）や金属タワシなどで表面をこすらない。また、硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。

●**人工大理石（アクリストン）ワークトップ、シンク**

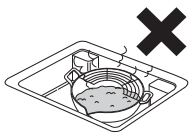
禁止

アルカリイオン整水器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。

禁止

熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。



変色・変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。

禁止

塩素系やアルカリ性の洗剤・漂白剤を原液や高温で使用したり、長時間放置しない。

サビや変色の原因になります。また、上記洗剤はなるべく使用を控えてください。

必ず実行

色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

●**セラミックワークトップ**

禁止

ワークトップ端部に、強い衝撃を与えない。

破損（割れ、欠けなど）の原因になります。破損した場合、補修はできません。

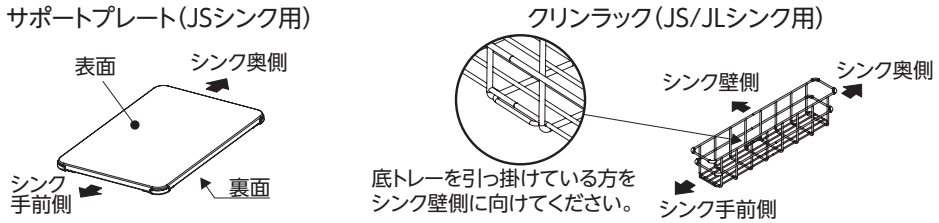
●**サポートプレート、クリンラック（JS/JL シンク用）**

必ず実行

サポートプレートとクリンラックは必ず正しい向きで取り付け、シンクの段差に引っ掛かっていることを確認してから使用する。

サポートプレートやクリンラックが落下し、破損やケガの恐れがあります。

MEMO　ＪＬシンク用のサポートプレートには、前後左右の向きはありません。

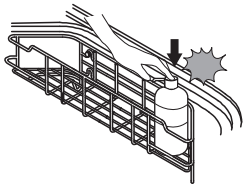


●**クリンラック（SC/SH シンク用）**

注意

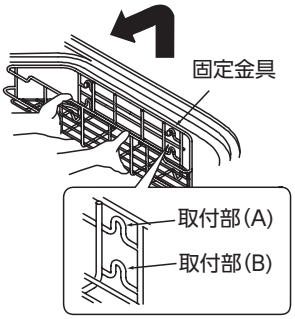
クリンラック（SC/SH シンク用）の端にポンプ式などの洗剤を置いて強く押さないよう留意する。

クリンラックが傾いて収納物が倒れる恐れがあります。



使い方

クリンラック（SC/SH シンク用）の脱着



取り外し方

クリンラックの全体を持ち、一度上方へ平行に持ち上げてから、手前に引いてください。

取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

取り付け方

シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。

MEMO 取付部(A)、取付部(B)のどちらかを引っ掛けてください。

クリンラック（SC/SH シンク用）の上下移動のしかた

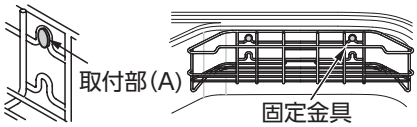
クリンラック（SC/SH シンク用）の脱着を参考に、クリンラックを取り外し、上下移動してください。

固定金具に引っ掛ける位置によってクリンラックの高さが変わります。

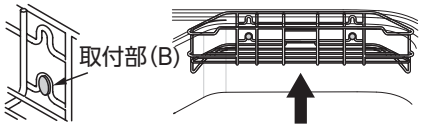
取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

MEMO フライパンやホットプレートなど、大きいものを洗うときは、取付部(B)を固定金具に引っ掛けるとシンク底面を広くお使いいただけます。

〈取付部(A)を固定金具につける場合〉



〈取付部(B)を固定金具につける場合〉



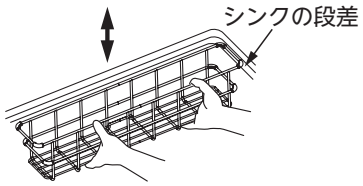
クリンラック（JL/JS シンク用）の脱着

取り外し方

クリンラックを両手で持ち上げる。

取り付け方

シンクの段差にクリンラックの上部を載せる。



まな板ラック（SC/SH シンク用）の脱着

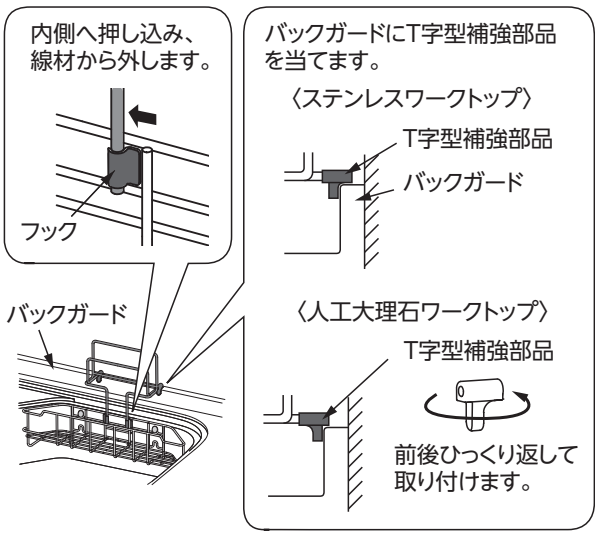
取り外し方

フックの部分を内側に押してフックを外し、クリンラックからまな板ラックを外す。

取り付け方

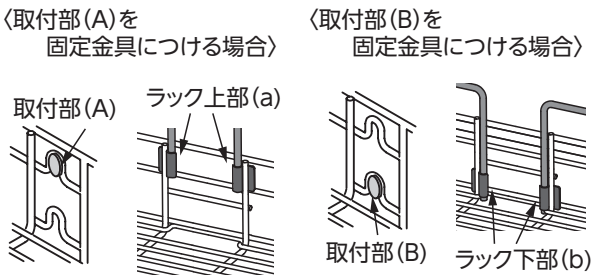
片側のフックをクリンラックにはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながらクリンラックにはめる。

T 字型補強部品をシンクのバックガードに当たるように取り付け、まな板ラックを動かしてみて、クリンラックから外れないことを確認してください。



MEMO

- 人工大理石（アクリストン）ワークトップの場合、T 字型補強部品を前後ひっくり返して取り付けてください。
- つねに T 字型補強部品がバックガードに当たるようにしてください。
  固定金具に取付部(A)を引っ掛ける際は、フックをラック上部(a)に取り付けてください。
  固定金具に取付部(B)を引っ掛ける際は、フックをラック下部(b)に取り付けてください。

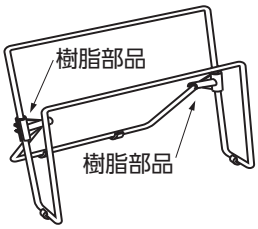


注 意　まな板ラック（SC/SH シンク用）は、セラミックワークトップには取り付けることができません。

4.1. ワークトップ・シンク

使い方

まな板スタンドの使い方



- まな板スタンドは、ワークトップ上に広げて立て、まな板を立てることができます。また、折りたたんでシャローパレットに収納することができます。収納する場合は、樹脂部品をワイヤーラックの線材に、上からはめ込んでください。
- まな板スタンドに収納できるまな板の厚さは、35㎜以下です。

お手入れのしかた

ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ

通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）または粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

MEMO　ヘアライン仕上げの場合は、目の方向と垂直に傷がつくと目立ちますので、目の方向と平行になるように拭いてください。

注 意
- 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、こまめにワークトップ全体をお手入れしてください。
- 美コートワークトップにはクレンザー類を使用しないでください。摩耗によって傷やコーティングの性能が劣化する恐れがあります。
- 美コートワークトップ以外に粒子の細かいクレンザー類を使う場合、ワークトップの目立たない部分で傷がつかないか確認してください。

参 照　お手入れスケジュール　P.6

ステンレスシンクのお手入れ

通常のお手入れ

- 中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水で洗剤を洗い流してください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

注 意
- 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、こまめにシンク全体をお手入れしてください。
- クレンザー類を使用しないでください。摩耗によって傷やコーティングの性能が劣化する恐れがあります。

参 照　お手入れスケジュール　P.6

美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ・シンクに使用できる洗剤・洗浄具

洗剤を使用する際は、以下の表にあてはまる洗剤・洗浄具を使用してください。「使用できるもの（○）条件付きで使用できるもの（△）」「使用できないもの（×）」を、品名別に参考事例を示しています。

MEMO　実際のご使用時には、洗剤・洗浄具に記載されている使用上の注意に従ってください。

洗剤・洗浄具

使用判断	種類		液性・成分・材質	使用制限内容および調理アイテムへの影響	洗剤名・洗浄具名
○	洗剤類	台所用洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤		各種『ファミリーシリーズ』（花王） 各種『チャーミーシリーズ』（ライオン）
	洗浄具類	スポンジ メラミンフォーム	スポンジ・メラミンフォーム		『ウレタンスポンジ下面』（ウレタン部） 『ネット付スポンジ』 『激落ちくん』（レック）
△	洗剤類	台所用漂白剤（液状）	塩素系の漂白剤・洗浄剤やアルカリ性の洗剤	高濃度の原液使用や高温使用による長時間放置不可。（サビ・変色の恐れ） ▼ 使用後すぐ水洗いすれば問題なし。	各種『キッチンハイター（液状）』（花王）
		台所用漂白剤（泡状）			各種『キッチンハイター（泡状）』（花王）
× 使用不可	洗剤類	台所用クレンザー	研磨剤入りの洗剤（クレンザーなど）	傷・摩耗によるコーティングの性能劣化の恐れ	クレンザー
	洗浄具類	ナイロン不織布	研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）	傷・摩耗によるコーティングの性能劣化の恐れ	『ウレタンスポンジ上面』（研磨粒子付不織布部）
		金属タワシ	金属タワシ	傷・摩耗によるコーティングの性能劣化、もらいサビの恐れ	『金属タワシ』

ワークトップ、シンク用以外の洗剤類(ワークトップ用、シンク用ではないが使用する可能性のある洗剤類)

使用判断	種類		液性・成分・材質	使用制限内容および調理アイテムへの影響	洗剤名・洗浄具名
○	排水パイプ用	台所まわり用合成洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤		『ワイドマジックリン』（花王） ※シンク洗浄には使わないでください。
× 使用不可	排水パイプ用	排水パイプ用洗浄剤	ケイ酸塩（「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表示している洗剤）	長時間接触による固着・変色の恐れ	ナトリウム オルトケイ酸 成分
	その他	排水口洗浄剤	固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）	腐食・サビの恐れ	ヌメリ取り剤
		トイレ用洗浄剤など	酸性の洗浄剤（塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨剤入りの酸性の洗浄剤）	サビ・変色の恐れ	酸性の洗浄剤

※上記の表以外の洗剤・洗浄具をご使用される場合は、用途・液性・成分が合致するものをお使いください。

4.1. ワークトップ・シンク

人工大理石（アクリストン）ワークトップ・シンクのお手入れ

通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）または粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）で円を描くように磨いてください。それでも落ちない場合は、研磨粒子入りの洗浄具（推奨品：住友スリーエム株式会社　スコッチ・ブライト　抗菌ウレタンスポンジたわしのナイロン不織布側（緑色側））、または 400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

注 意
・ワークトップ、シンク底面以外の場所（側面など）には使用しないでください。つやがなくなり、傷がつく恐れがあります。
・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。

参 照　お手入れスケジュール　P.6

人工大理石（アクリストン）に傷がついたとき

- 傷がついた場合は、上記の落ちにくい汚れの場合と同様に磨いてください。
- 傷が取り切れない場合は、240 番くらいのサンドペーパーで磨いた後に、400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行ってください。

MEMO　汚れや傷のお手入れをした箇所と、その周辺に光沢の違いが見られる場合は、液体クレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。

- さらに深い傷や欠けが発生した場合は、お買い求めの販売店、またはクリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。

参 照　アフターサービスのご用命　裏表紙

セラミックワークトップのお手入れ

通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

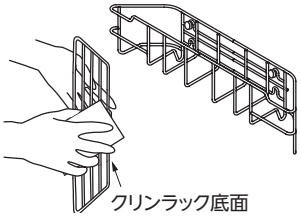
- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社　激落ちくん）または粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

注 意
・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、こまめにワークトップ全体をお手入れしてください。
・研磨粒子入りの洗浄具（不織布たわし等）やサンドペーパーは使用しないでください。つやがなくなり、白くくもる恐れがあります。

参 照　お手入れスケジュール　P.6

クリンラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、ラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。
- 汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。



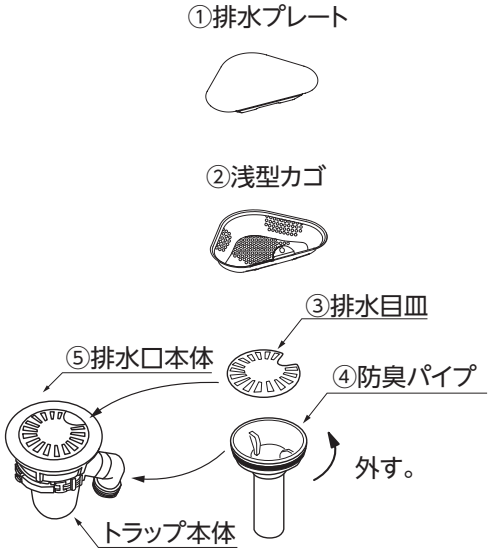
MEMO クリンラックは、一番汚れやすい洗剤やスポンジを置いている底面部分だけを外して、お手入れすることができます。

注 意 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。

4.2. 排水口まわり

排水口の役割は調理クズを一時的にためることと、排水管からの悪臭防止、防虫をすることです。

〈排水トラップ〉



使用上の注意

必ず実行

浅型カゴ、排水目皿は必ず取り付けて使用する。

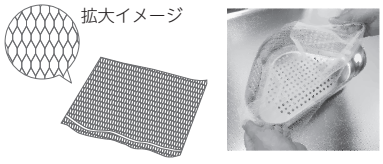
排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。

必ず実行

浅型カゴにためたゴミは、こまめに捨てる。

半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。

MEMO 水切りネットを使用した場合、ゴミがつまりやすくなる場合がありますので、よりこまめにゴミを捨ててください。
なお、ご使用になる場合は、下表を参考にしてご使用ください。

浅型カゴ	クリンコーナー
小判型用／三角コーナー兼用等のストッキングタイプ ※20×15㎝／20×20㎝と記載のあるもの（伸張時）が目安 拡大イメージ 使用時	三角コーナー用のネットタイプ ※25×25㎝と記載のあるものが目安  拡大イメージ 使用時

必ず実行

浅型カゴのお手入れは、必ず排水口本体から取り外して行う。

設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。

禁止

防臭パイプは、通常使用時に取り外さない。

排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。

禁止

洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。

変色の恐れがあります。

禁止

成分にケイ酸塩（オルトケイ酸ナトリウムと成分表示している洗剤）を含んだ洗剤は使用しない。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう水できれいに洗い流してください。

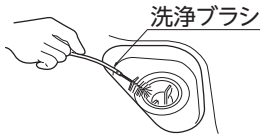
お手入れのしかた

部品ごとのお手入れ方法

- ①排水プレートは、表面にステンレスシンクと同じ美コート（セラミック系特殊コーティング）を施しています。ステンレスシンクと同様のお手入れをしてください。

参照 ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ P.26
美コートワークトップ、ステンレスシンクで使用できる洗剤・洗浄具 P.27

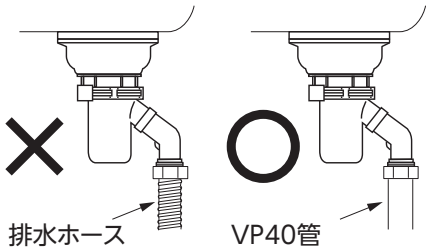
- 排水口周りの、各部品のお手入れは下記の表を参考に行ってください。

部品名	お手入れの目安	方法
①排水プレート	週 1 回以上	中性洗剤を使用する
②浅型カゴ		
③排水目皿		
④防臭パイプ	・月 1 回程度 ・においやつまりを感じたらその都度	中性洗剤をスポンジや洗浄ブラシなどにつけてこすり落とす 
⑤排水口本体		

MEMO ④防臭パイプの取り外しは反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

- 洗浄前に③排水目皿と④防臭パイプを取り外し、洗浄後は必ず取り付けてください。
- 排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、排水口・排水トラップに高い水圧をかけないように打ち合わせをしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。
- 集中洗浄（高圧洗浄）に使用するホースは樹脂製を推奨します。
- 排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。フリーパイプや肉厚管（VP 管）などで直管配管している場合のみ、高圧洗浄が可能です。



4.3. シンク用アクセサリーパーツ

シンク周りをより使い勝手よく使用できるアクセサリーパーツです。シンク形状により対応しているパーツが異なります。よくご確認の上、ご利用ください。

使用上の注意

●サポートプレート、洗剤ラック（ＪＬシンク / ＪＳシンク用）、水切りカゴ

必ず実行

シンクにしっかり載せて使う。

落下する恐れがあります。

ステンレスシンク用アクセサリーパーツ

		SHシンク	SCシンク	ＪＳシンク	ＪＬシンク
お使いのシンク	ステンレスシンク	W60×D52×H18.5㎝	W75×D52×H18.5㎝	W135×D50×H19.6㎝	W90×D50×H23.5㎝
付属品	洗剤ラック	KAP-CK3　￥6,000	KAP-CK2　￥6,000	KAP-CK4　￥6,000	
	サポートプレート			KAP-S13　￥48,000	KAP-S12　￥48,000
	まな板スタンド			ZKPBNN-K　￥1,300	
	排水プレート	KAP-HP11　￥3,800			
	浅型カゴ	KAP-AG2　￥5,000			

ステンレスシンク用アクセサリーパーツ

		SHシンク	SCシンク	ＪＳシンク	ＪＬシンク
お使いのシンク	ステンレスシンク	W60×D52×H18.5㎝	W75×D52×H18.5㎝	W135×D50×H19.6㎝	W90×D50×H23.5㎝
オプション品	止水フタ	ZKPLNN-K　￥800			
	サポートプレート	ZKPPJN-K　￥6,000 ※メッシュタイプ			
	水切りカゴ	ZKPNNN-K　￥5,500			
	まな板ラック/スタンド	ZKPAFN-K　￥1,000 （フラット対面/セラミックワークトップ用） ZKPBNN-K　￥1,300			
	クリンコーナー	ZKPKNN-K　￥8,500		※ステンレス製の三角コーナーです。排水プレートの代わりに排水口上部に設置してお使いいただけます。	

表示価格は税抜き価格です。

※商品仕様および価格は、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご注文はこちらへ。

クリナップオンラインショッピング http://style.cleanup.jp/　クリナップオンライン

クリナップテクノサービス㈱アクセサリーパーツ係 0120-846-447（受付時間 平日9:00～18:00）
※諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

アクセサリーパーツをご注文いただいた後、お客さまのご自宅へ10日以内にお届けいたします。
※購入申込集中時や連休前後など諸般の事情、お届け先が離島などの一部の地域には、お届けが遅れる場合もございます。
※商品は十分にご用意しておりますが、万一品切れの際はご容赦ください。

- 商品代金とは別に送料がかかります。
- 商品の送料は一律600円（税抜き）とさせていただきます。ただし、１回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）以上の場合は送料が無料となります。また、配送先は日本国内に限らせていただきます。
  ※各種割引サービスの適用により、１回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）未満になった場合でも、割引適用前の合計金額が5,000円（税抜き）以上であれば、送料が無料となります。

5.1. キャビネットの収納例

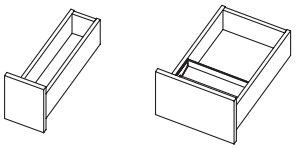
本項では収納例をご紹介します。豊富な収納を持つキッチンですので、ご参考の上、お役立てください。なお、キッチンには様々な形状やキャビネット構成があるため、イラストとお客様がご使用の商品とは異なる場合があります。

コンロキャビネット

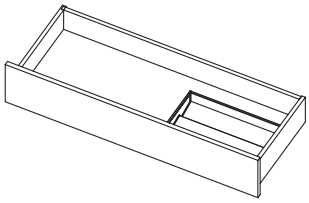
引出し部（1 段目）

使用頻度の高い調味料を収納。
スパイス類、袋物調味料、小物調味料

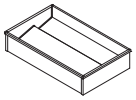
〈ガスコンロ・IH 用〉



〈グリルレス用〉



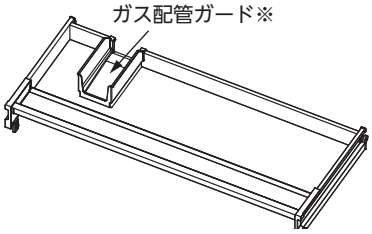
●アクセサリートレー（ワイド）



スパイス類、袋物調味料等

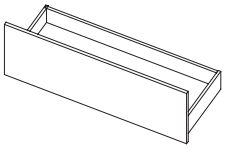
ツールコンテナ
ツールボックス（1 段目）

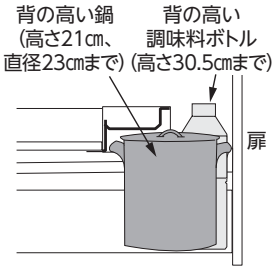
主に火周りで使用する調理道具や小さいフライパン（直径 25㎝まで）、片手鍋などの使用頻度の高い調理道具を、取り出しやすい場所にまとめてきれいに収納。
手前部にはフライ返しやお玉などのレードル類を収納。



注 意 ガス配管ガードはガス配管と収納物との干渉を防ぐために設置しています。収納物は絶対に入れないでください。

引出し部（2 段目）





〈手前〉背の高い調味料ボトルや鍋を収納。
醤油、みりん、酒、油、寸胴鍋

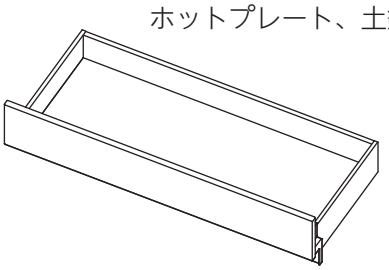
〈奥〉火周りでよく使用する道具を収納。
大きいフライパン、背の高い鍋

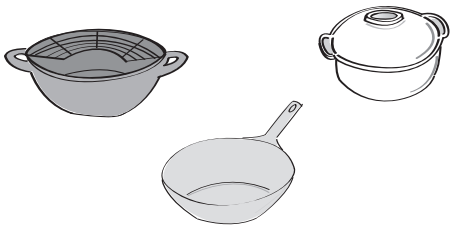
センターポジ

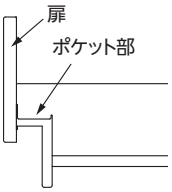
ベースキャビネ
使用頻度の高い収
キッチンの中心
すぐに使いたいものを取

フロアコンテナ

使用頻度の低い鍋やフライパン、季節使いの調理器具を収納
鍋、フライパン、カセットコンロ、
ホットプレート、土鍋、

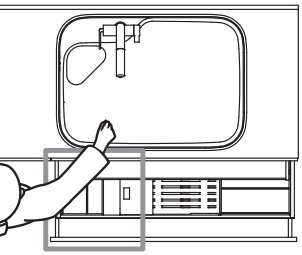


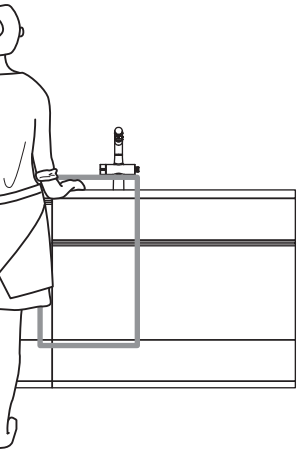




ポケット部

家庭用油凝固財



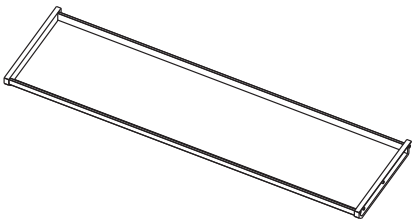


ション設計

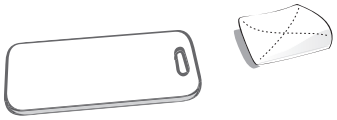
ットのまわりに
納物を置くことで、
に立ったまま、
り出すことができます。

ツールコンテナ

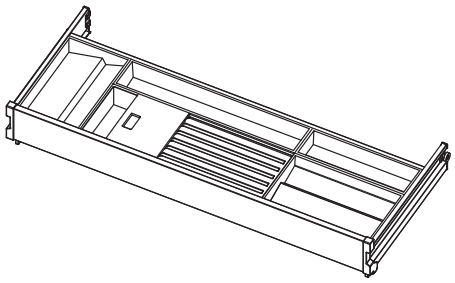
シャローパレット (1 段目)



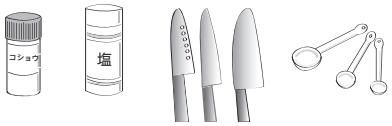
まな板、ふきん



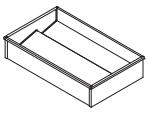
ツールボックス (2 段目)



主に水回りで使用する調理道具、調味料などの使用頻度の高い収納物を、取り出しやすい場所にまとめてきれいに収納。トレーや包丁差しは簡単に取り外せる為、お客様の使いやすい場所に配置できます。

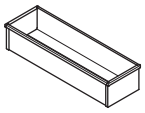


●アクセサリートレー（ワイド）



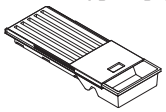
スパイス類、計量スプーン、コルク抜き、缶切り、栓抜き、しゃもじ等

●アクセサリートレー（スリム）



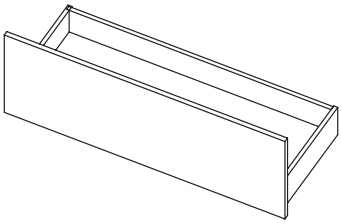
ラップ、アルミホイル、菜箸、めん棒等

●ロック付包丁差し



40㎝までの長さの包丁５本

引出し部 (3 段目)

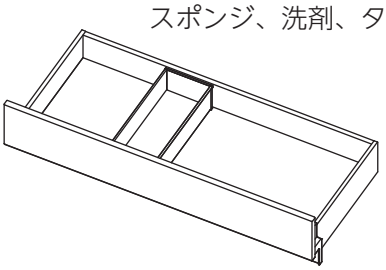


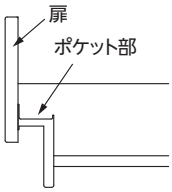
水周りでよく使用する道具を収納。
ボール、ざる、計量カップ、はかり、ふるい、トレー、樹脂容器

フロアコンテナ

使用頻度の低い家電や、清掃道具等の日用ストック品を収納

缶詰、ビール（500ml）、樹脂容器、お弁当箱、スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤





パーテーショントレー

引出し内を仕切りながら、ストック用の食材類を並べて収納

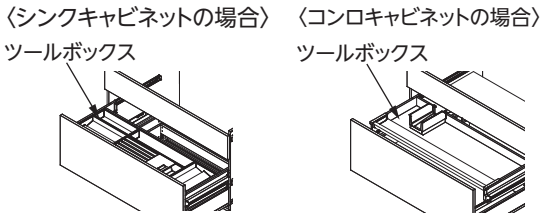
ストック用レトルト類、使用頻度が低い食材

ポケット部

ラップ、アルミホイル等のストック品、ゴミ袋、スポンジ

5.2. ツールボックス

ツールボックスは、さまざまな場所に収納していた調理道具を見やすくきれいにまとめて収納することができます。調理中に必要な道具を手元ですぐに取り出すことができます。
引出しを引くとツールボックスも一緒に引き出されるので、開け閉めするわずらわしさを減らします。



使用上の注意

必ず実行

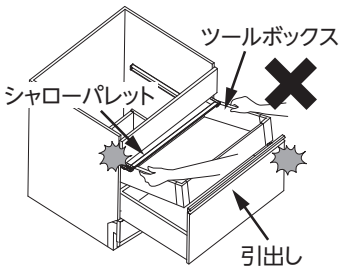
包丁や調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。

必ず実行

ツールボックスを脱着するときは、引出しやシャローパレットにぶつからないようにする。

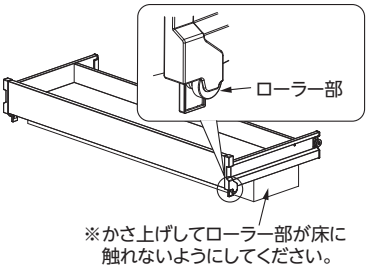
引出しやツールボックスなどに傷がつく恐れがあります。



必ず実行

ツールボックスを床に置く際は、ローラー部分が破損しないよう、かさ上げして床に置いてください。

ツールボックスのローラー部（下部）をそのまま床に置くと、変形・破損する恐れがあります。



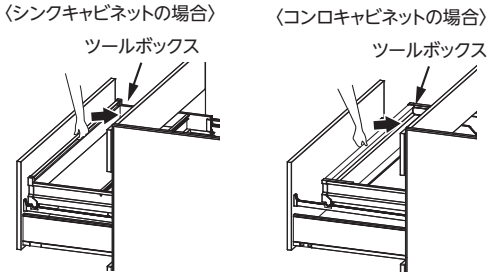
使い方

ツールボックスの使い方

- 引出しを引き出すとツールボックスも一緒に引き出されます。
- 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、ツールボックスの手掛け部を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください。（手前をやや持ち上げながら動かすとスムーズにスライドできます）

※シンクキャビネットとコンロキャビネットでは手掛け部の持ち方が異なります。

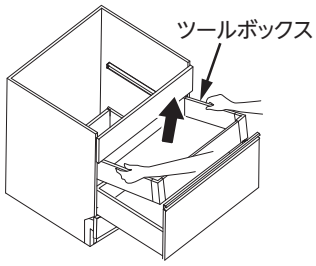
- 引出しを閉めてから再度引き出すと、再びツールボックスも一緒に引き出されます。



注 意 手前を過度に持ち上げると、ツールボックスからレールが外れる恐れがあります。

ツールボックスの脱着

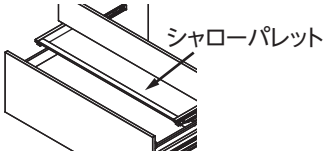
引出しを全開状態にした後、ツールボックスの両側板または手掛け部と背板を持ち、斜め手前へ持ち上げてください。



参 照 引出しの脱着　P.50

5.3. シャローパレット

シャローパレットにはまな板やふきんを収納することができます。
シンク下にあるので、使いたいときにさっと取り出すことができます。
また、まな板を斜めに置くことで指が入りやすく、取り出しやすくなっています。



使用上の注意

必ず実行

まな板などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。

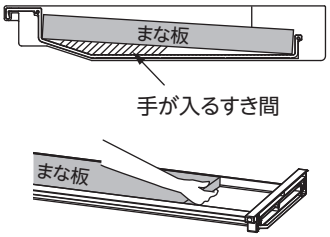
禁止

シャローパレットを引き出したまま、引出しを閉めない。

シャローパレットが扉とぶつかって、破損の原因になります。

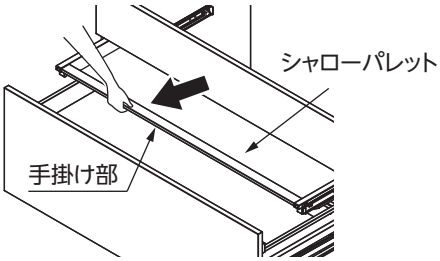
使い方

シャローパレットとまな板の間にすき間ができるので、大きく厚いまな板でも、指が入りやすく、取り出しやすくなっています。



シャローパレットの使い方

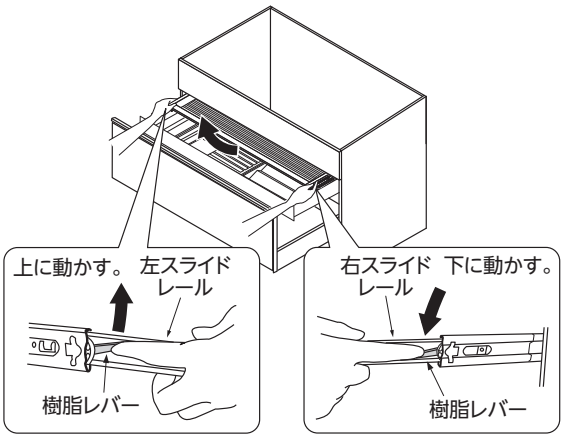
- 手掛け部を下から持って、手前にゆっくり引出します。
- 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、手掛け部を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください。



シャローパレットの脱着

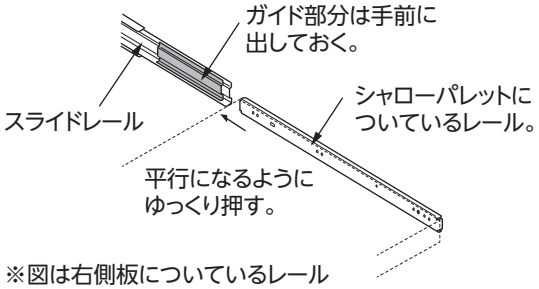
取り外し方

引出しを全開状態まで引き出し、右のスライドレールの側面の樹脂レバーを下げながら、左のスライドレールの樹脂レバーを上げて、レールと平行に静かに引き出してください。



取り付け方

右図のように、スライドレールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押してください。このとき、左右両方のスライドレールのガイド部分を手前側に移動しておくと、作業がやりやすくなります。

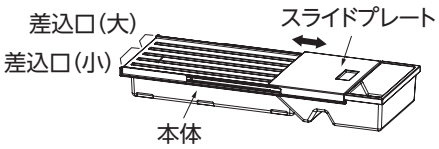


※図は右側板についているレール

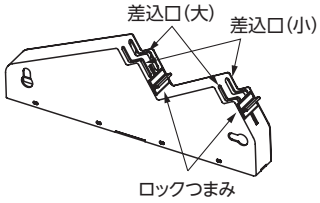
5.4. 包丁差し

- ツールボックスには、ロック付包丁差しが装備されています。
- ツールボックスがつかないシンクキャビネットにはロック付斜め包丁差しが装備されています。

ロック付包丁差し



ロック付斜め包丁差し



使用上の注意

必ず実行

包丁や調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。

使い方

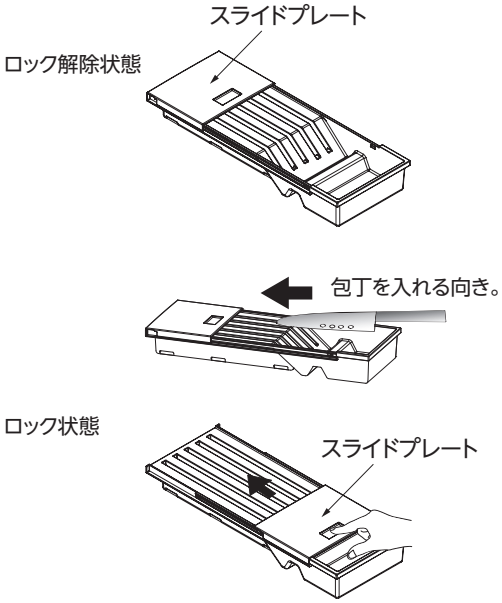
ロック付包丁差しの使い方

1. スライドプレートがロック解除状態であることを確認してください。
2. 右図の方向から包丁を差し込んでください。

   MEMO ・ロック付包丁差しには、包丁が 5 本収納できます。
   ・出刃包丁などの刃の厚みがある包丁は、差込口(大)の出刃包丁用差し込み溝に収納してください。

3. 包丁をロックする場合は、スライドプレートを包丁の柄の方向へスライドさせるとロックします。

   MEMO ・包丁のロックを解除する場合は、スライドプレートを押しながら、包丁の刃先方向へスライドすると解除します。



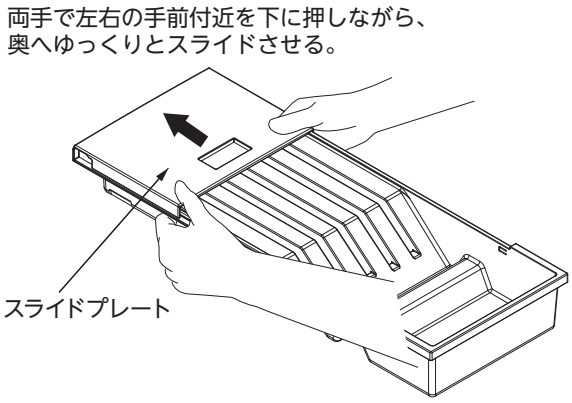
注 意　包丁の種類によっては、収納できない包丁やロック機構が使えない包丁があります。

スライドプレートの脱着

取り外し方

1. 両手でスライドプレートの手前付近を下に押しながら、奥へゆっくりとスライドします。

MEMO　お手入れはスライドプレートを取り外して行うことをお勧めします。



収納できる包丁の本数・大きさ

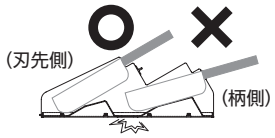
部位		収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
ロック付包丁差し	差込口（大）	2 本	250㎜以下	8㎜以下	55㎜以下
	差込口（小）	3 本	250㎜以下	5㎜以下	55㎜以下
ロック付斜め包丁差し	差込口（大）	2 本	210㎜以下	8㎜以下	55㎜以下
	差込口（小）	2 本	210㎜以下	5㎜以下	55㎜以下

注 意　包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても、収納できない場合があります。

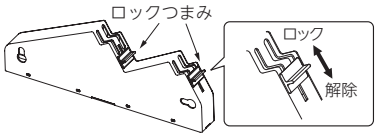
ロック付斜め包丁差しの使い方

- 包丁が 4 本収納できます。

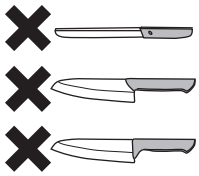
MEMO 差込口は大小 2 タイプあります。刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口（大）に収納してください。
また、包丁の形状によって収納できないことがあります。柄側の差込口に収納できない場合、刃先側の差込口に収納できないか、ご確認ください。



- 包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向（上）へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを「解除」方向（下）へずらしてください。



注 意
- サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
- 刃と柄の部分に段差の少ないものや柄の形状によっては、ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
- ロックを掛けるときはカチッというまでロック方向にずらしてください。しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。



ロック付斜め包丁差しの脱着

包丁差し本体のだるま穴に扉裏面の 2 つのピンを差し込んで固定しています。次の手順で扉から外してください。

取り外し方

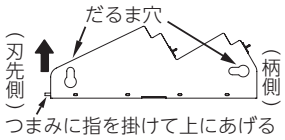
1. 包丁差しの刃先側の側面の下部にあるつまみに指を掛けてカチッというまで強く上に引っ張る。そのまま引出しの奥側に動かして刃先側のピンから包丁差しを外す。
2. 反対側の側面をカチッというまで押してから引出しの奥側に動かし、もう一方のピンから包丁差しを抜き、扉から完全に外す。
3. 底板を外す場合は図のように本体の側板を開いて底板の突起を本体側板の穴から外す。

取り付け方

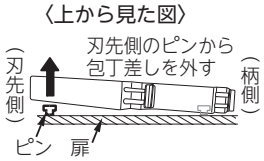
取り外したときの逆の手順で取り付ける。
だるま穴の正しい位置にピンがはまるとカチッといいます。
そこまでしっかりと押し込んでください。

MEMO
- 本体と扉の間にすき間があると、ピンがはまらない場合があります。本体を扉に押し当てながら取り付けてください。
- 包丁差しの向きを変える場合は、固定していなかった方のだるま穴についているキャップを包丁差しの内側から押しながらスライドさせて外し、反対側に取り付ける。底板をはめ、包丁差しを扉に取り付ける。

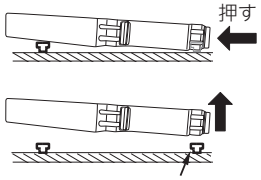
1.〈扉の裏から見た図〉



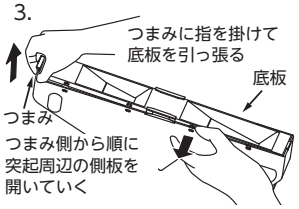
〈上から見た図〉

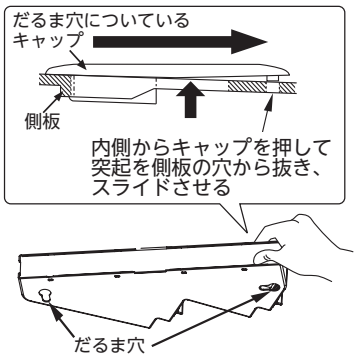


2.



3.





5.5. コンロキャビネット・コンロ横引出し

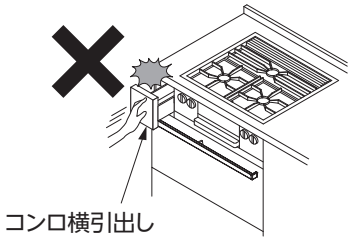
コンロ横引出しは調味料などの収納としてご利用していただけます。

使用上の注意

禁止

コンロ横引出しを勢いよく閉めない。

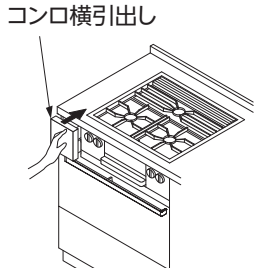
レールが破損する恐れがあります。



使い方

コンロ横引出しの使い方

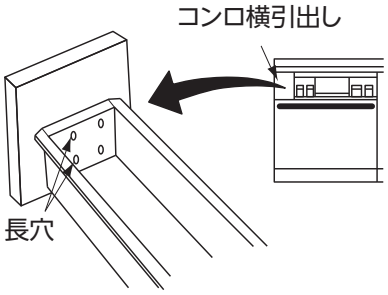
- コンロ横引出しはプッシュオープンレールを使用しています。
- 前板を押すと反動で引出しがやや開きます。全開する場合は手で引き出してください。
- コンロ横引出しを閉める場合は、前板を最後まで押し込んでください。



注 意　プッシュオープンレールは商品の特性上、引出しが出る量に若干のばらつきがあります。

コンロ横引出しの前板の調整

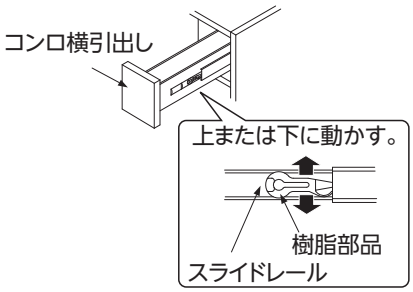
前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。
その後、必ずねじを締め直してください。



コンロ横引出しの脱着

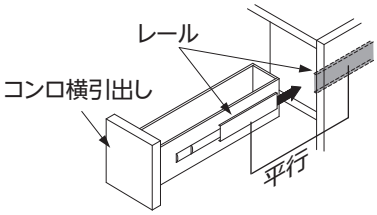
取り外し方

1. 引出しを引き出して、全開にする。
2. 右図のように、レールの樹脂部品を上または下へ動かして、さらにレールと平行に静かに引き出す。



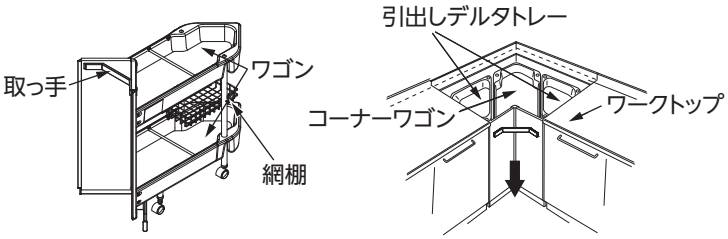
取り付け方

1. 右図のように、レールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押す。



5.6. コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）

サッと引き出せるコーナーワゴンには、普段使用するものを収納し、両サイドの引出しデルタトレーには、あまり使用しないものを収納することをお勧めします。



使用上の注意

必ず実行

引出しデルタトレーやコーナーワゴンをキャビネットに収納する際は、ゆっくりと押し入れる。

勢いよく入れると、隣の扉に当たって傷がついたり、扉やレール、樹脂部品が破損する恐れがあります。また、収納物が転倒する場合があります。

禁止

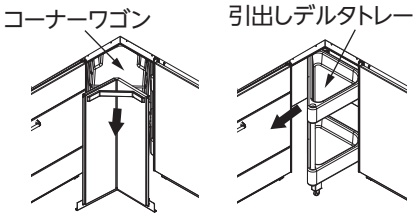
取っ手を握りながら下方向に過度に力を加えない。

コーナーワゴンの収納量が少ない場合、コーナーワゴン後方のキャスターが持ち上がることがあります。水平方向に力を加え、ゆっくり操作してください。

使い方

コーナーワゴンの使い方

- コーナーワゴンが完全に引き出された状態で、両サイドの引出しデルタトレーをそれぞれ引き出して使用できます。
- コーナーワゴンを手前に引き出して、お好きな場所までワゴンを運んで収納物の出し入れができます。

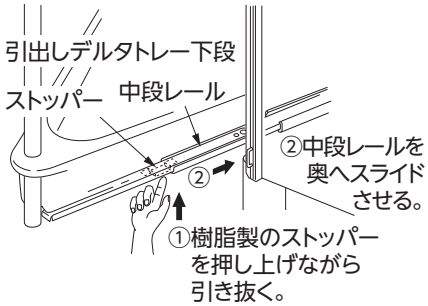


引出しデルタトレーの脱着

取り外し方

1. レール下面にある樹脂製のストッパーを指で上に押し上げながら、引出しデルタトレーをいっぱいまで引き出す。
2. レールをキャビネットの奥方向へスライドさせる。

   レールから取り外せるようになります。レールから外れた状態では、引出しデルタトレーは自立できませんので、倒れないように手で支えてください。



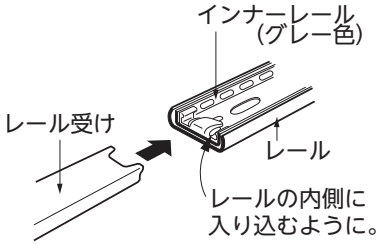
注 意　レールがない状態では、引出しデルタトレーは自立できません。必ず、収納物は取り除いてから取り外してください。

取り付け方

1. 側板についているレールを奥まで入れる。
2. インナーレール（グレー色）をレール手前に移動させる。
3. 引出しデルタトレーについているレール受けを、レールの内側に入り込むように当てがって、奥まで押し込む。

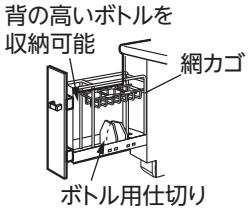
   レールの奥になるほど、少し強めに押してください。
4. 引出しデルタトレーを引き出して、所定の位置でトレーが止まることを確認する。

   外れる場合は、再度、引出しデルタトレーを取り付けて、前に取り付けたときよりも、さらに奥に押し込んでください。



5.7. ボトル収納スライドキャビネット

ボトル収納スライドキャビネットには一升ビンやペットボトルを収納することができます。また、上部の網カゴには、調味料の小ビンなどが収納できます。



使用上の注意

禁止

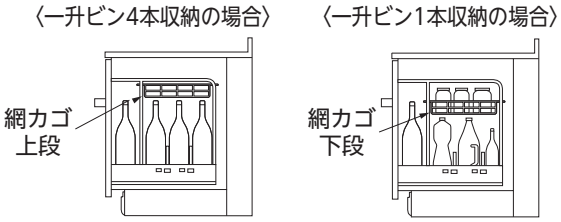
勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

使い方

ボトル収納スライドキャビネットの使い方

上部の網カゴは、収納量に応じて、取付位置を上下に可動できます。一升ビンを 2 本以上収納する場合は、網カゴを上段に取り付けてください。



MEMO ボトル収納スライドキャビネットは、収納ラックに何も入れない場合や、小物類のみを収納した場合は、引出しの開閉時にぶれが大きく感じることがありますが、故障ではありません。

ボトル用仕切りの脱着

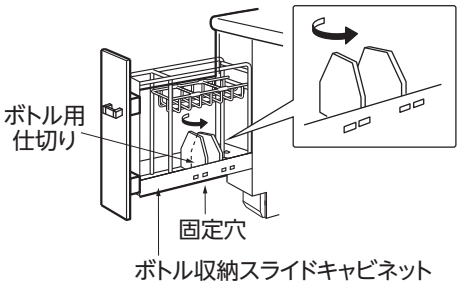
取り外し方

右図の矢印のように仕切りを斜めにして取り外す。

取り付け方

側面の固定穴に合わせて仕切りを差し込む。

“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



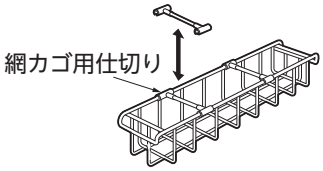
網カゴ用仕切りの脱着

取り外し方

網カゴをラック本体から外し、仕切りのＴ字の樹脂部分を強く引っ張って外す。

取り付け方

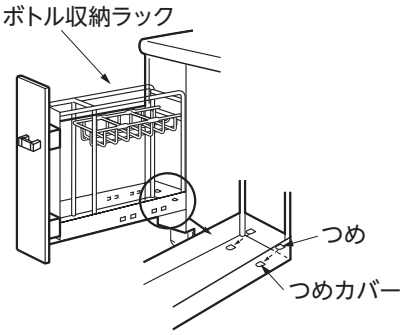
取り外したときと逆の手順で取り付ける。



ボトル収納ラックの脱着

取り外し方

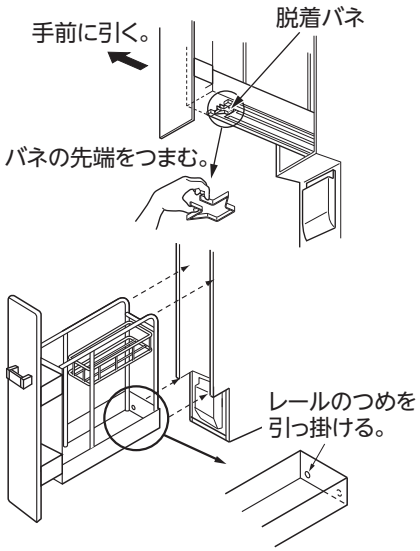
1. ボトル収納ラックを引き出す。
2. ボトル収納ラック奥側についているつめカバーを取り外す。
3. ボトル収納ラック本体の下側の脱着バネの先端をつまみながら、ボトル収納ラック本体を手前に引いてレールから取り外す。



ボトル収納ラックの脱着（つづき）

取り付け方

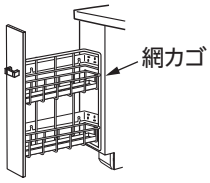
1. レールをキャビネット内に収納する。
2. ボトル収納ラック本体下側の脱着バネの先端をつまみながら、レールに合わせて脱着バネを取り付け、ボトル収納ラック本体を奥側までスライドさせる。
   確認のため、ボトル収納ラックを手前にスライドさせ、奥側にレールのつめが掛かっているかどうか確認してください。つめが掛かっていない場合は、もう一度ボトル収納ラックをしっかりとキャビネット奥に収納してください。
3. 奥側のつめのカバーを取り付ける。



注 意　ボトル収納ラックを取り外す場合は、収納物を取り除いてから行ってください。

5.8. 網カゴスライドキャビネット

網カゴスライドキャビネットには、上下の網カゴに調味料の小ビンなどが収納できます。



使用上の注意

禁止

勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

使い方

脱着・調整のしかた

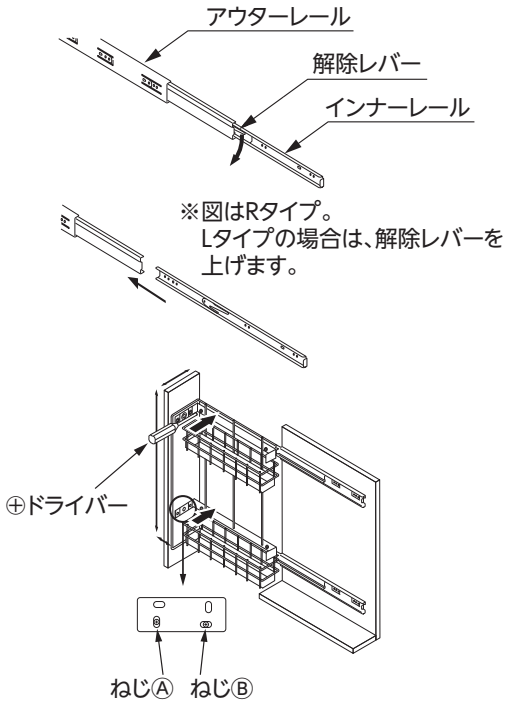
取り外し方

インナーレールについている解除レバーを下げながら（Ｌタイプの場合は上げながら）、レールを引き出してください。

取り付け方

アウターレールにインナーレールを合わせ、差し込んでください。解除レバーがアウターレールに完全に隠れるまで、確実に差し込んでください。

1. 上下調整のしかた
   長穴を利用し、右図のねじⒶ４本を使用します。
2. 左右調整のしかた
   右図のねじⒷ２本を使用します。
3. 前後調整のしかた
   右図の矢印の箇所から⊕ドライバーを差し込み、奥にあるねじを使用します。ねじをゆるめ、前後調整した後、確実にねじを締め直してください。



5.9. ライザー付ベースキャビネット

ライザー付ベースキャビネットは、ライザーを引出しに組み込み、重いお米も簡単に引き出して使うことができます。

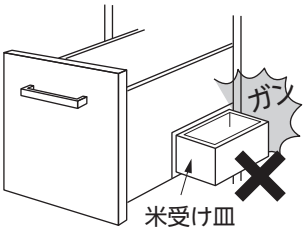
参照　取り扱いについては、別冊の「ライスボックス取扱説明書」を参照してください。

使用上の注意

必ず実行

ライザーの米受け皿が完全に納まっていることを確認してから、ライザーをキャビネットに収納する。

米受け皿が納まっていない状態で収納すると、破損する恐れがあります。



禁止

米受け皿に米を満杯に入れた状態で過度な力で開け閉めしない。

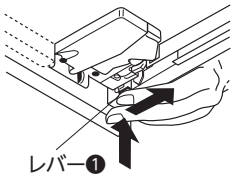
フタが外れて、米が飛び出す恐れがあります。引出しの開け閉めは、丁寧に行ってください。

使い方

脱着・調整のしかた

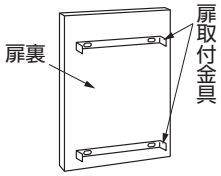
1. 高さ調整のしかた

   ライザー底板の❶のレバーを押しながら、前後に動かしてください。調整範囲は、3㎜です。



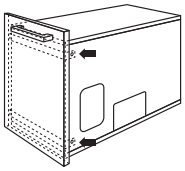
2. 左右調整のしかた

   ライザー横のねじを取り外し、扉をライザーから外してください。扉取り付け金具の長穴を利用して、左右調整をしてください。



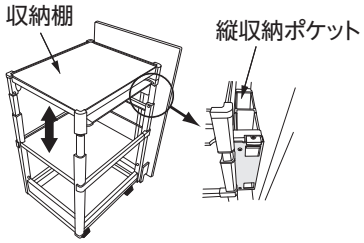
3. 前後調整のしかた

   ライザー横のねじをゆるめて、前後調整をしてください。調整後は、ねじをしっかり締めてください。調整範囲は、2㎜です。



5.10. 昇降式道具収納ワゴン用ベースキャビネット

昇降式道具収納ワゴンは、大型の調理道具や調理家電を、いつでも使える状態で収納できる可動式の昇降タイプのワゴン収納です。キャビネットには2口のコンセントがついています。

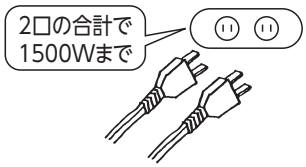


使用上の注意

禁止

消費電力の合計が1500 Wを超える電気製品は接続しない。

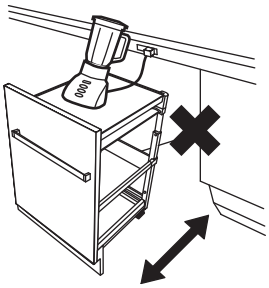
破損や火災の原因になります。



禁止

ワゴンの天板に電気製品を載せ、コンセントに差し込んだままワゴンを動かさない。

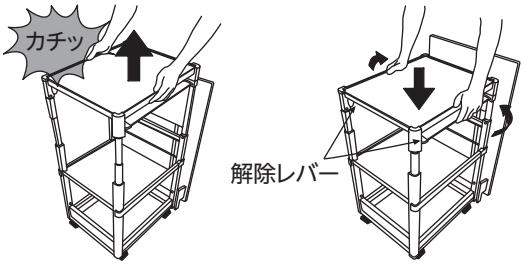
電気製品が落下したり、コードが切れたりして破損の原因になります。ご使用後は必ずコンセントから抜いて電源コードをまとめ、中段または下段に収納してください。



使い方

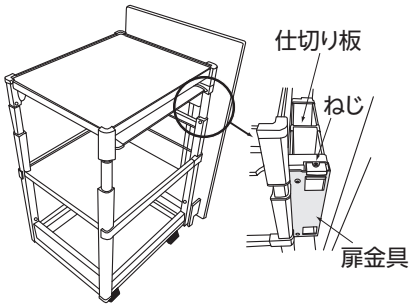
ワゴンの高さ調節

- ワゴンの天板の高さを変えることができます。
  (床からの高さ:68.5㎝、75㎝、80㎝、85㎝、90㎝)
- 天板を持って上へスライドさせてください。“カチッ”と音がしたところで手を離すと止まります。
- 高さを下げるときは、両側についている解除レバーを同時に握り、下方へ力を加えながらスライドさせてください。



縦収納ポケットのお手入れ

薄めた中性洗剤を布などに含ませ、汚れを落とします。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾拭きしてください。

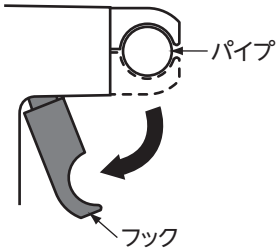


取り外し方

1. ⊕ドライバーで、両端の樹脂部にあるねじをゆるめる。
2. 図のように、樹脂部の下側にあるフックを回転させてから、本体を持ち上げて外す。

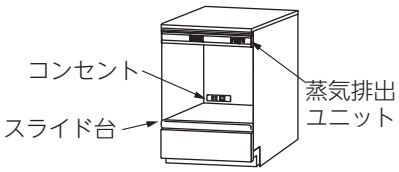
取り付け方

1. 樹脂部の下側にあるフックが、下へ回転した状態になっていることを確認してから、縦収納ポケット本体をワゴン本体と扉の間に入れる。
2. 樹脂部の下側にあるフックを上へ回転させて、扉金具のパイプをはさみ込むように、⊕ドライバーで、ねじを締め付ける。



5.11. 家電収納タイプベースキャビネット

家電収納庫には、電気炊飯器、電気ポットを置くことができます。



使用上の注意

禁止

家電の電源コードをスライド台のレールに、はさまない。

断線、感電の原因になります。

禁止

スライド台を手前に引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。

使い方

家電収納庫の使い方

- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントは1口1480W以下の器具がご利用できます。
- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器等の家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。

注 意　スライド台は、ガス炊飯器や電子レンジを置かないでください。

5.12. 開き扉・引出し・棚板

使用上の注意

●開き扉、引出し

禁止

扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

必ず実行

コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整する。

コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。

禁止

扉と引出しを過度な力で勢いよく閉めない。

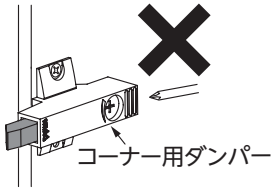
サイレント効果が弱まる恐れや、サイレントダンパー、ブルモーション機構が破損する恐れがあります。

●サイレントダンパー

禁止

サイレントダンパーは設置位置を変えない。

効果を発揮させるための、最適な位置に取り付けてあります。無理に固定ねじをゆるめて位置を動かすと、サイレントダンパーが外れたり、破損したりする恐れがあります。

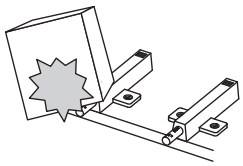


●プッシュラッチ

必ず実行

プッシュラッチを避けて収納する。収納物を取り出すときは、プッシュラッチに当たらないようにする。

収納物が当たって、プッシュラッチが破損する恐れがあります。



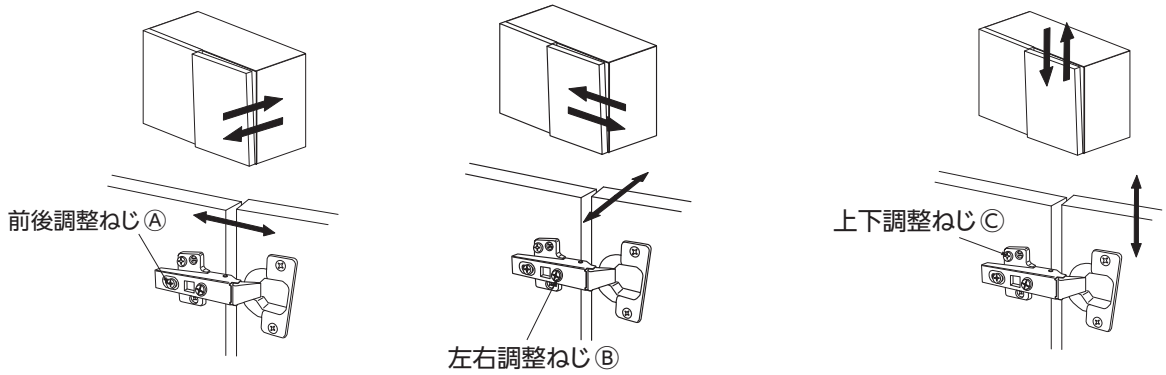
5.13. 開き扉・引出し・棚板

使い方

開き扉の調整のしかた

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかり締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が 1㎜以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が 3㎜以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

●前後調整　●左右調整　●上下調整



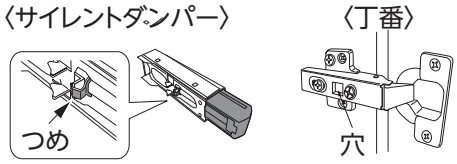
ねじⒶを左に回すと扉が前に、右に回すと扉が後に動きます。

ねじⒷを右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

ねじⒸをゆるめて扉を上下に調整した後、調整ねじⒸを締め直します。

MEMO　コーナー用扉の場合は、前後、左右の調整時に扉の動く向きが図と逆になります。

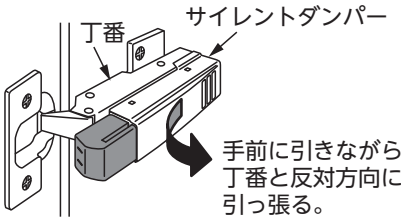
サイレントダンパーの脱着



※サイレントダンパーは機構上、すべての丁番にはついていません。扉の片側（上部または下部）、もしくは扉の大きさや扉の種類によっては両側（上部および下部）についている場合があります。サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。

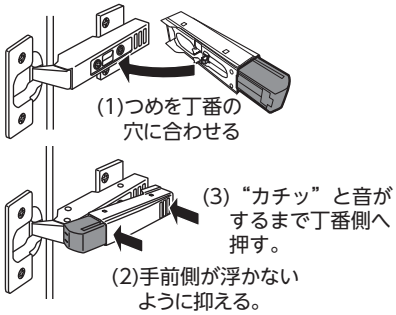
取り外し方

サイレントダンパーを手前に引きながら、手前側を丁番と反対方向に引いてください。



取り付け方

1. サイレントダンパーの裏面のつめが、丁番の長方形の穴に入るように合わせます。
2. 手前側が浮かないようにしっかり抑えます。
3. 奥側を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込みます。

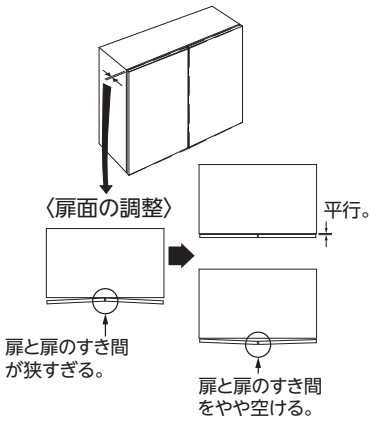


注 意　サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

サイレントダンパーの脱着（つづき）

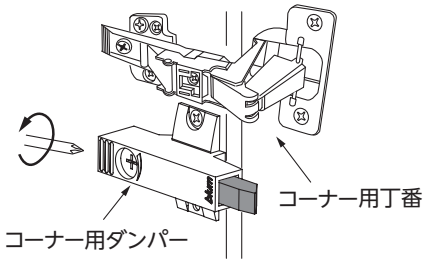
以下の場合は、サイレント効果が弱いと感じられます。
①扉を閉めた状態で、扉の丁番取り付け部よりも、扉の裏面がキャビネット本体に近すぎるとき。
②小さいサイズの扉のとき。
③左右両開き（観音開き）扉で、片方の扉を開けた状態で、もう片方を閉めたとき。

上記①、②の場合には、扉面がキャビネットと平行、もしくは扉の裏面をキャビネットからやや離すように扉を調整してください。



コーナー用サイレントダンパーの調整のしかた

- コーナーキャビネット（棚板タイプ）、コーナー吊戸棚、コーナーパントリーには右図のようなサイレントダンパーがついています。ダンパーの押し代を伸ばしたり、縮めたりすることで、扉を閉めるときに、ダンパーが扉の裏面に接触してから閉まりきるまでの時間を調整することができます。



サイレントダンパーのねじを正面から向かって反時計回りに回すとダンパーの押し代が伸びて、扉が閉まりきるまでの時間が長く（強）なります。時計回りに回すと押し代が縮まり、時間が短く（弱）なります。

扉を閉めるとき、扉裏面とサイレントダンパーの先端がこすれる音がする場合があります。その場合には、サイレントダンパーの先端部がずれないことを確認しながらサイレントダンパーのねじを回し、調整すると音は消えます（サイレント効果は変わりません）。

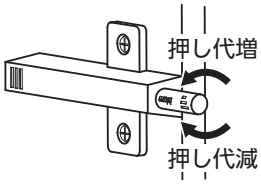
注 意 サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

サイレントダンパーのお手入れ

扉を開閉する頻度によっては、扉裏面のサイレントダンパーの接触する部分が汚れる場合があります。その場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。

プッシュラッチの調節のしかた

- プッシュラッチの先端を回転させることによって、扉の押し代を調整することができます。
- プッシュラッチの先端を正面から向かって反時計回りに回すと、扉の押し代が増えます。時計回りに回すと扉の押し代が減ります。

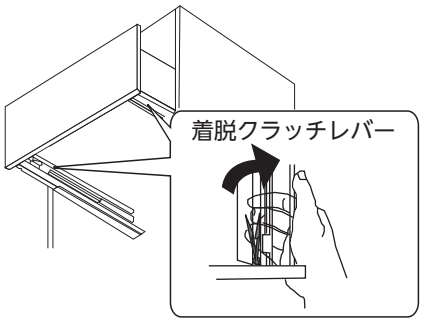


5.12. 開き扉・引出し・棚板

引出しの脱着

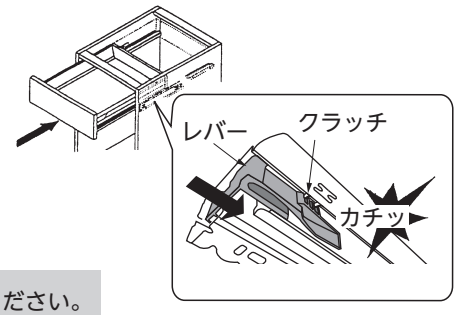
取り外し方

1. 引出しをストップするところまで引き出す。
2. 引出し裏側のクラッチレバーを矢印の方向に押しながら、手前側に静かに引き出してください。
   ※クラッチレバーは左右のレールにそれぞれついています。



取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥１／３くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す。
   (“カチッ”と音がしてロックが掛かる)
3. ３～４回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構がしっかりと作動するかを確認してください。

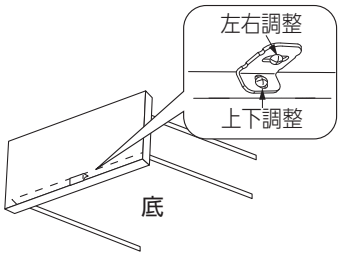


注 意 クラッチが奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。差し込みが不十分だと、引出しを開閉した際に、引出しが落下する恐れがあります。

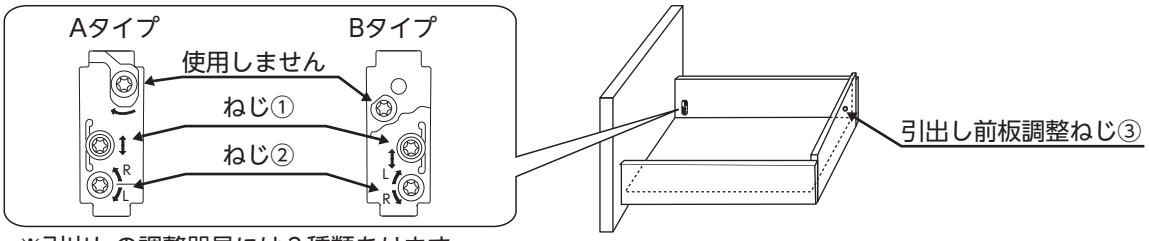
引出し前板の調整のしかた

- 引出しの裏面に前板調整部品がついている場合は、⊕ドライバーでねじをゆるめてから引出しを調整してください。調整後は、必ずねじを締め直してください。
- 引出しの調整はヘクスローブレンチ（T20）が必要です。付属のヘクスローブレンチ（T20）を使って調整してください。

〈前板調整部品〉

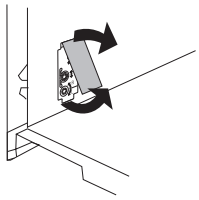


引出し前板の調整のしかた（つづき）



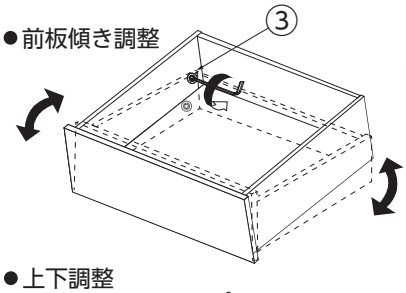
※引出しの調整器具には２種類あります。

●脇カバーを外します。



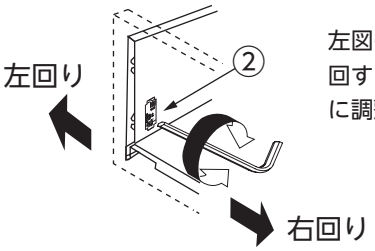
カバーの下側を上に押し上げて手前に外します。

●前板傾き調整



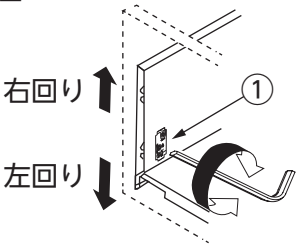
引出しの側板後方にあるねじ③を左へ回すと引出し全体が前に、右へ回すと後ろに傾きます。

●左右調整



左図のようにねじ②を右へ回すと右に、左へ回すと左に調整できます。

●上下調整



左図のようにねじ①を左へ回すと上に、右へ回すと下に調整できます。

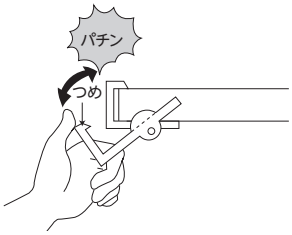
※調整終了後は、必ず脇カバーを取り付けてください。

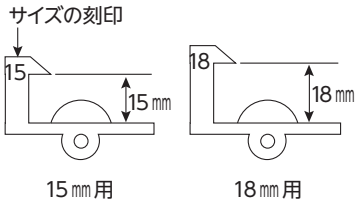
5.12. 開き扉・引出し・棚板

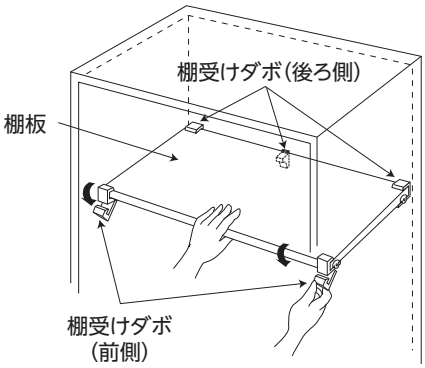
木製棚板の脱着

取り外し方

1. 前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. 棚板を前へ引いて取り外す。







注 意 棚受けダボは、棚板の厚さ（15㎜、18㎜）によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

取り付け方

1. 棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。

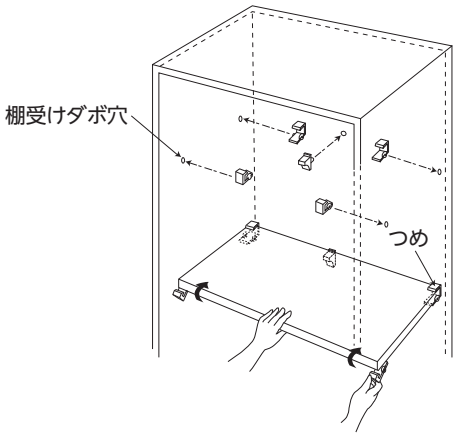
   幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

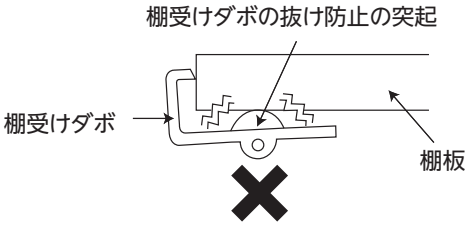
注 意
- 差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。
- 棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。

2. 後ろ側の棚受けダボのつめに、棚板をしっかりとはめ込む。
3. 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。

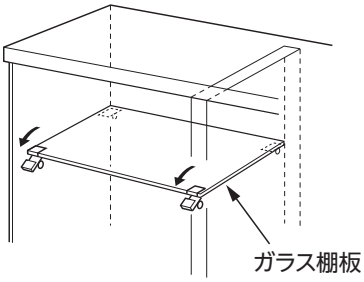
   つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
4. 棚板にガタつきがないか、確認する。

   ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



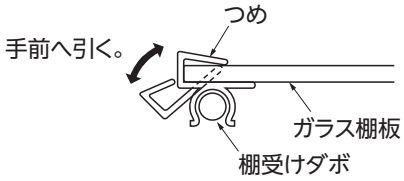


ガラス棚板の脱着



取り外し方

1. 前側の左右のガラス棚受け用ダボのつめ部分を、ガラス棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. ガラス棚板を前へ引いて取り外す。



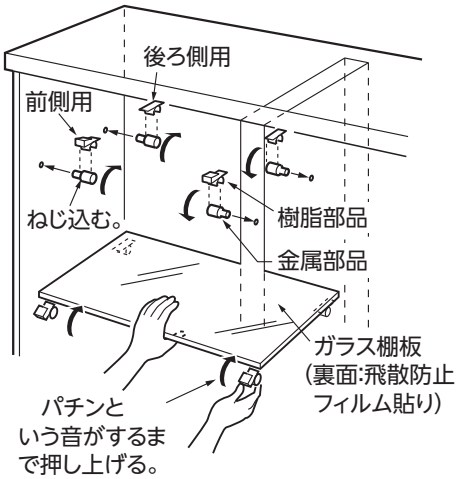
取り付け方

1. 図のように、ガラス棚受け用ダボの金属部品を、前後の棚受けダボ穴にしっかりとねじ込む。

   幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

2. 図のように、ガラス棚受け用ダボの樹脂部品を金属部品にはめ込む。

   樹脂部品は前後で形状が異なりますので、気をつけてください。



3. ガラス棚板を設置する。

注 意 ガラス棚板は、裏面は飛散防止フィルム貼りです。フィルムは傷がつきやすいため、「上面」と書かれたシールが貼られている面を、必ず上にして設置してください。

4. ガラス棚板を後ろ側のガラス棚受け用ダボに載せ、ガラス棚板を押さえながら、前側のガラス棚受け用ダボを下から強く押し上げる。

   つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

5. ガラス棚板にガタつきがないか確認する。

   ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。

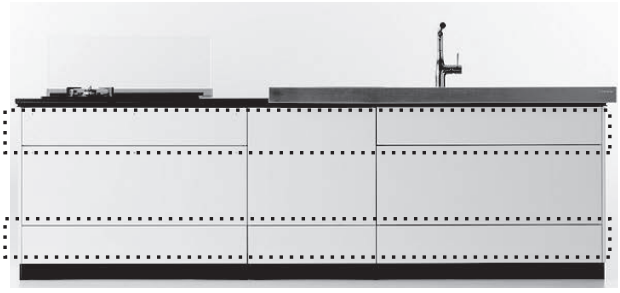
注 意 ガラス棚板を取り扱うときは、十分に気をつけてください。

5.13. キャビネット用オプションパーツ

オプションパーツを使用すれば、より効率的な収納ができます。各オプションパーツの取り付け可能な引出しについては、以下のイラストを参照してください。
※商品仕様および価格は予告なく変更する場合があります。

〈引出しオプションパーツの使用可能場所〉

〈CENTRO キッチンセット側〉



1段引出し/内引出し
・アクセサリートレー（スリム）
　アクセサリートレー（ワイド）

フロアコンテナ
・パーテーショントレー
・フロアコンテナ用
　ライザー

〈収納側〉

1段引出し/内引出し
・アクセサリートレー（スリム）
・アクセサリートレー（ワイド）

アクセサリートレー

引出しにぴったり納まり、細かな収納を仕切ることができます。

トレーの種類	タイプ	奥行	品名	価格(税抜き)
アクセサリートレー(スリム)	内引出し用	450㎜用	ZKH045ES-D	¥3,000
		500㎜用	ZKH055ES-D	¥3,000
	引出し用	350㎜用	ZKH035DS-D	¥2,000
		450㎜用	ZKH045DS-D	¥3,000
		500㎜用	ZKH050DS-D	¥3,000
		550㎜用	ZKH055DS-D	¥3,000
アクセサリートレー(ワイド)	—	—	ZKH022NL-D	¥2,000

アクセサリートレー
（スリム）

使用例

アクセサリートレー
（ワイド）

使用例

パーテーショントレー(シンクキャビネット用 フロアコンテナ専用)

フロアコンテナ内を仕切りながら、ストック品などを正面に並べて収納できます。

品名	価格(税抜き)
ZKH016NM-D	￥3,000

パーテーショントレー

使用例

タオル掛け（ライン取っ手用）

使いやすい高さで、引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

品名	価格(税抜き)
LT-211TK	￥3,000

タオル掛け

使用例

タオル掛け（取っ手レス用）

使いやすい高さで、引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

品名	価格(税抜き)
ZKHCAN-K	￥3,000

タオル掛け

使用例

フロアコンテナ用ライザー（米びつ）

キッチン高さ 85㎝以上、間口 45㎝以上、引出し奥行き 35㎝以上のフロアコンテナ内に収納できます。お米が約 11 kg 入る容量があります。

品名	価格(税抜き)
ZKCFNN-K	￥4,000

※深型食器洗い乾燥機用ベースキャビネットには対応不可です。

フロアコンテナ用
ライザー

使用例

開き扉用ライザー（米びつ）

間口 30㎝以上、奥行 45㎝以上の開き扉内に収納できます。お米が約 10 kg 入る容量があります。

品名	価格(税抜き)
ZKCRNN-K	￥10,000

開き扉用ライザー

使用例

ご注文はこちらへ。

クリナップオンラインショッピング http://style.cleanup.jp/ クリナップオンライン

クリナップテクノサービス㈱アクセサリーパーツ係 0120-846-447 (受付時間 平日9:00～18:00)
※諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

アクセサリーパーツをご注文いただいた後、お客さまのご自宅へ10日以内にお届けいたします。
※購入申込集中時や連休前後など諸般の事情、お届け先が離島などの一部の地域には、お届けが遅れる場合もございます。
※商品は十分にご用意しておりますが、万一品切れの際はご容赦ください。
・商品代金とは別に送料がかかります。
・商品の送料は一律600円（税抜き）とさせていただきます。ただし、１回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）以上の場合は送料が無料となります。また、配送先は日本国内に限らせていただきます。
※各種割引サービスの適用により、１回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）未満になった場合でも、割引適用前の合計金額が5,000円（税抜き）以上であれば、送料が無料となります。

6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた

使用上の注意

昇降式の吊戸棚をご使用の際は、以下の点にご注意ください。

禁止

棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。

禁止

棚に衝撃を与えるように、ものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。

禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを起こす恐れがあります。

必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。

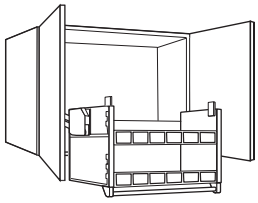
お手入れのしかた

吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

6.2. ムーブダウン吊戸棚

ムーブダウン吊戸棚は、昇降バネの強さを切り替えることができるので、収納量が多くても軽い力で降ろせる可動式の吊戸棚です。



使用上の注意

禁止

落下防止バーを持って引き出さない。

落下防止バーが外れたり、曲がったりする恐れがあります。

必ず実行

落下防止バーを必ず掛けて使用する。

昇降時に収納物が動いて落下する恐れがあります。

禁止

ぬれたものを収納しない。

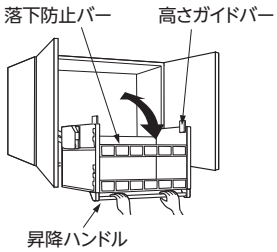
破損やサビの原因になります。

使い方

ムーブダウン吊戸棚の使い方

昇降ハンドルの中央部を両手で持ち、ゆっくり上げ下げしてください。

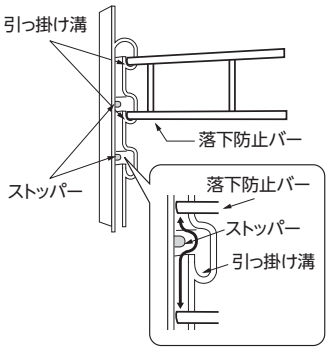
MEMO 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。



落下防止バーの調整のしかた

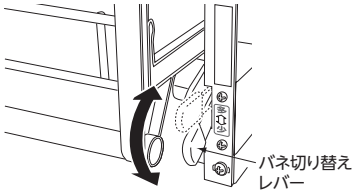
収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。

1. 落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、右図のようにストッパーをよけながら上下に移動させる。
2. 位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ掛け溝に入れる。



バネ切り替えレバーの調整のしかた

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

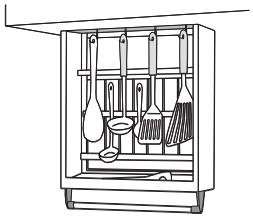


MEMO
- 使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「少」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
- 収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げて、レバーを調整してください。

収納重量（目安）	左レバー	右レバー
0～ 5 kg	少	少
5～10 kg	少	多
	多	少
10～15 kg	多	多

6.3. プルダウン吊戸棚

プルダウン吊戸棚は、手前が通常棚板で、奥が昇降ラックになっています。
- 調味料棚タイプは、調味料や香辛料を収納できます。
- レードルラックタイプは上下２段にレードルが掛けられ、下部の小物トレーには菜箸などを収納できます。



使用上の注意

禁止

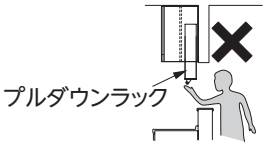
ぬれたものを収納しない。

サビの原因になります。

禁止

対面側からプルダウンラックを上下操作しない。

ケガや破損の原因になります。
プルダウンラックの操作は、キッチン側から行ってください。



使い方

プルダウン吊戸棚の使い方

下げる場合は、操作バーの中央部を持ち、ゆっくり垂直に下げてください。上げる場合も同様にゆっくり垂直に上げてください。

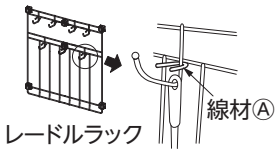
注 意 収納物がない状態では、操作がかなり重く、上げる際にはバネの力で急上昇するので気をつけてください。

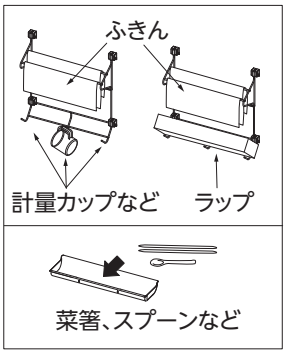
●調味料棚タイプ

- 間口 45㎝タイプの上段にはキッチンペーパーが､間口 30㎝タイプの上段には調味料が収納できます。
- 下段には調味料や香辛料が収納できます。

●レードルラックタイプ

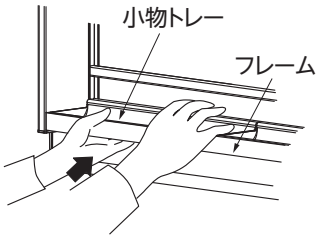
- フック部分の上についている線材Ⓐは、プルダウン吊戸棚を昇降する際に、フックからレードルが落下しないために取り付けられています。レードルは線材Ⓐの下部に掛けるようにしてください。
- ふきんラックは上部にふきん、下部のフックには計量カップやピーラーなどの小物を掛けたり､ラップを収納することができます｡ふきんは水を切ってから収納してください。
- 小物トレーには菜箸などを収納することができます。





小物トレーの脱着

収納物をすべて取り出してから行ってください。



底から押し上げて外してください。

取り外し方

底から小物トレーを押し上げる。

飛び出しを防ぐために、もう片方の手を添えながら行ってください。

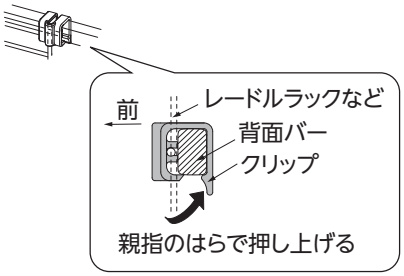
取り付け方

小物トレーとフレームを水平にして、上から垂直にセットする。

ラック類の脱着

取り外し方

親指のはらを使って左右のクリップを同時に押し上げる。

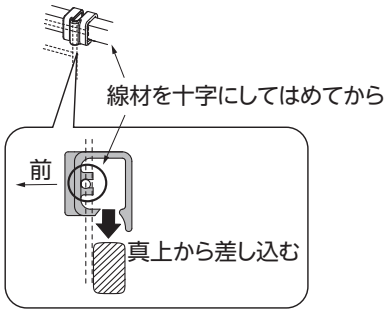


取り付け方

1. ラックの線材が十字になっている部分にクリップをはめ込む。
2. 背面バーの真上からクリップを左右同時に差し込む。

MEMO ペーパーラックは、クリップを前後逆にして取り付けてあります。

注 意 使用する前に、ラック類がきちんとセットされているか確認してください。ラック類が落下してケガをする恐れがあります。



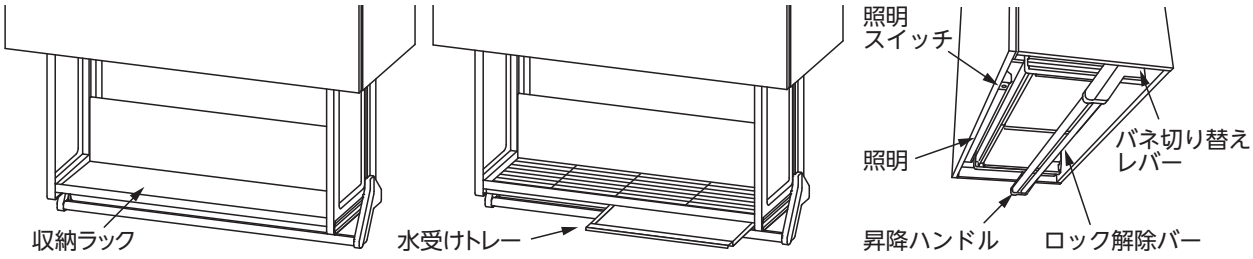
ペーパーラックは、クリップの前後を逆にして使います

お手入れのしかた

調味料棚に敷いてある樹脂シートは、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、自然乾燥させます。乾拭きをする場合は、ティッシュペーパーや毛脚の長いタオルなどでこすると繊維が付着する恐れがあるので、乾いた布で行ってください。その他のお手入れは P.56 を参考に行ってください。

6.4. ハンドムーブ

ハンドムーブは、調理道具や調味料、食器類などを収納できる上下可動式の収納ラック付吊戸棚です。
- 収納棚タイプは、調味料やキッチンペーパーなどを収納できます。
- 水切りタイプは、洗った食器や調理道具などを収納できます。



使用上の注意

禁止

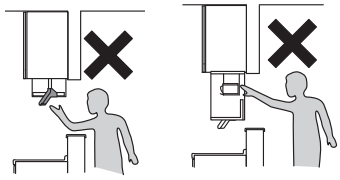
収納物や水受けトレーがはみ出したまま昇降させない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。

禁止

対面側からラックを上下操作しない。対面側から収納物を取り出さない。

ケガや破損の原因になります。
収納ラックの操作は、キッチン側から行ってください。



必ず実行

お手入れの際は、収納重量とバネ切り替えレバーを目安の設定に合わせ、降ろしきった状態で行う。

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。

禁止

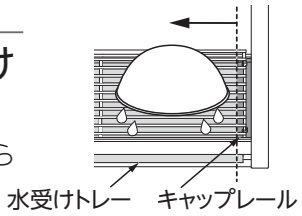
お手入れの際は、ロック解除バーを手前に引かない。

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。

必ず実行

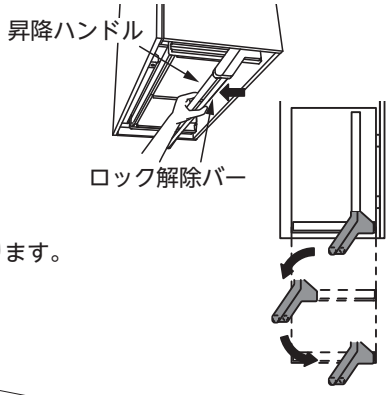
水切りタイプにぬれたものを収納する場合、水受けトレー内に納まるように置く。

水受けトレーおよび、キャップレールより外側に置くと、収納庫の端から水が垂れる恐れがあります。



ハンドムーブの使い方

下げる場合は、昇降ハンドルの中央部を持ち、ロック解除バーをしっかりと握って、ゆっくり手前に引きます。昇降ハンドルを引き切ったら、押し下げてください。上げる場合も同様にゆっくり操作してください。

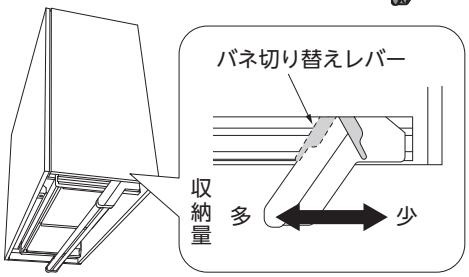


MEMO 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。

- 収納庫全体の最大収納量は約 8kgです。
- 収納できる大きさは高さ 35㎝、奥行 23㎝までです。
- 収納物の重さが偏らないように、均等に収納してください。

バネ切り替えレバーの調節

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。



バネ切り替えレバーの調節（つづき）

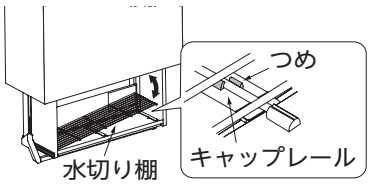
・使い始めや、何も収納物が載ってないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「小」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。

・収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げきってから、レバーを調節してください。

収納重量（目安）	左レバー	右レバー
0～4 kg	少	少
4～7 kg	少	多
	多	少
7～8 kg	多	多

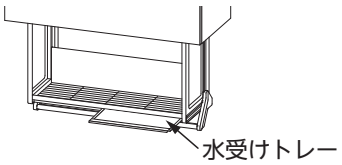
水切り棚の脱着

ゆっくりとキャップレールから外してください。
取り付ける場合は、キャップレールのつめにしっかりと押し込んでください。



水受けトレーの脱着

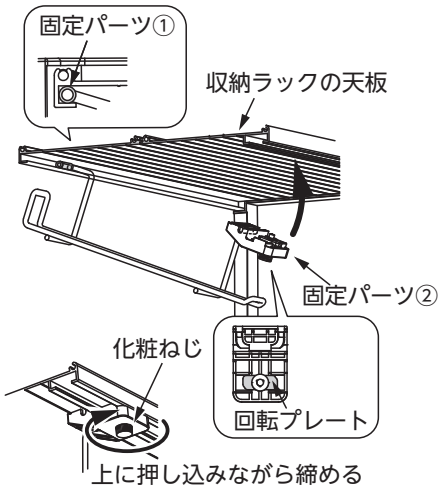
両手で持ち、ゆっくりと手前にスライドさせ、外してください。



ラックの脱着（皿立てラックを除く）

取り付け方

1. 上棚板裏面の奥側にあるラック取付溝に固定パーツ①を下方向からはめ込む。
   ※固定パーツ①をはめ込む際は、右図を参照して向きに注意してください。
2. 回転プレートが手前にあるラック取付溝に平行であることを確認し、固定パーツ②を下方向からはめ込む。
3. 固定パーツ②の化粧ねじを上に押し込みながら締め、ラックを固定する。
   ※ラックの化粧ねじは確実に締め、固定パーツ①②が外れないことを確認してください。



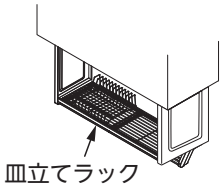
取り外し方

外すときは、化粧ねじを上に押し込みながら、取り付けのときと逆の手順で外します。

皿立てラックの脱着

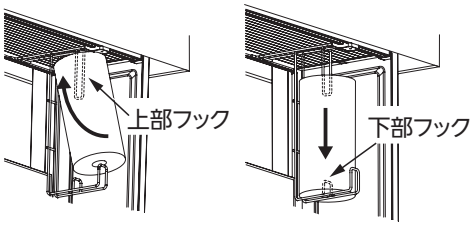
水切り棚の目に合わせて置いてください。

MEMO 収納庫のたわみを避けるため、皿立てラックをご使用の際は、収納庫の中央付近への設置は避け、左右どちらかに寄せてご使用ください。中皿、大皿（直径 23㎝）11 枚まで収納できます。



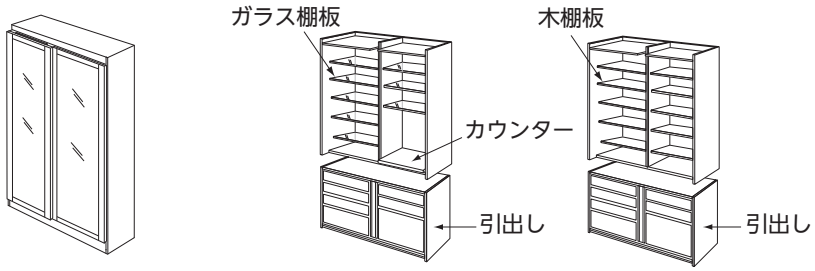
ペーパーホルダーの使い方

1. ペーパーホルダーの上部フックにキッチンペーパーを下方向からはめ込む。
2. キッチンペーパーを奥側の下部フックにはめ込む。



7.1. システムエリア収納

システムエリア収納は、食器や食材、調理道具の収納等に適した収納庫です。
内部にカウンターを備えたタイプでは、さっと隠せる一時置きやちょっとした作業スペースに使えます。



使用上の注意

必ず実行

扉を開く際は、開く反対側の扉が閉まりきった状態であることを確認し、ゆっくりと開く。

引き違い防止部品に強い衝撃を与えると、異音や破損の原因となります。

必ず実行

内引出しを引き出す際は、扉が開ききった状態であることを確認し、引き出す。

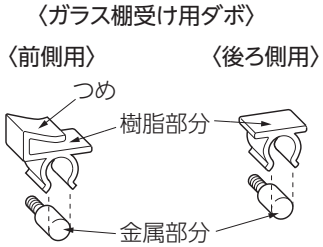
内引出しとガラス扉がぶつかって、破損する恐れがあります。

●ガラス棚板

必ず実行

専用のガラス棚受け用ダボを使用する。

その他のダボを使用すると、棚板がガタついたり、落下の原因になります。



必ず実行

取り付けるときは、「上面」と書かれたシールが貼られた面が上になるように設置する。

飛散防止フィルムに傷がつく恐れがあります。

参照　照明付の場合　9.2 照明器具　P.68

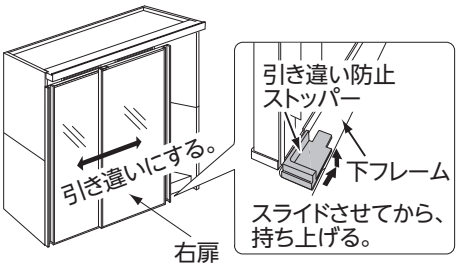
使い方

システムエリア収納の使い方

- 扉端の取手中央部を持ってゆっくり開閉してください。

お手入れのしかた

ガラス扉の裏面は飛散防止フィルム貼りです。裏面は表面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気をつけてください。汚れた場合は、傷を避けるため、綿などの柔らかい布で拭いてください。



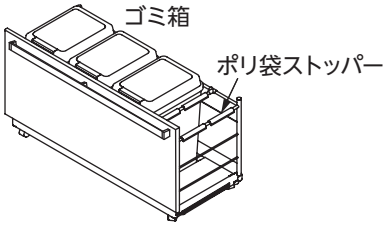
扉の裏面をお手入れする場合

1. 右扉の下フレーム右下に取り付けられている引き違い防止ストッパーを取り外す。
2. 左右の扉を引き違いにし、扉の裏面を拭く。
3. 清掃が終わったら、引き違い防止ストッパーを元の位置に取り付け直す。

注意　引き違い防止ストッパーは、指はさみを防止するために必要な部品です。お手入れした後は、必ず取り付けて使用してください。

7.2. リサイクルゴミワゴン

リサイクルゴミワゴンは、家電収納庫や引出し下のスペースに複数のゴミ箱が置け、資源ゴミの分別に便利です。キャスターつきなので作業中のゴミ捨ても簡単です。



使用上の注意

禁止

ポリ袋ストッパーと仕切りバーをワゴンの持ち手として使用しない。

ポリ袋ストッパーと仕切りバーが取れる恐れがあります。

必ず実行

ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。

悪臭の原因になります。

禁止

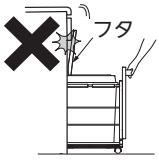
生ゴミは収納しない。

悪臭の原因になります。

必ず実行

ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。

フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



禁止

ワゴンの出し入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。

破損の原因になります。

禁止

キャスターにゴミや汚れがついた状態で使用しない。

床材に傷や汚れがつく恐れがあります。

使い方

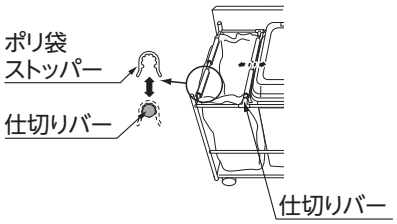
リサイクルゴミワゴンの使い方

- リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは、汚れを落として、乾燥させてから収納してください。
- 生ゴミは収納しないでください。悪臭が発生する原因になります。
- ワゴンの開閉時は、両手で取っ手を持ちながら引き出してください。ワゴンが左右にぶれず、引き出しやすくなります。

ポリ袋の止め方

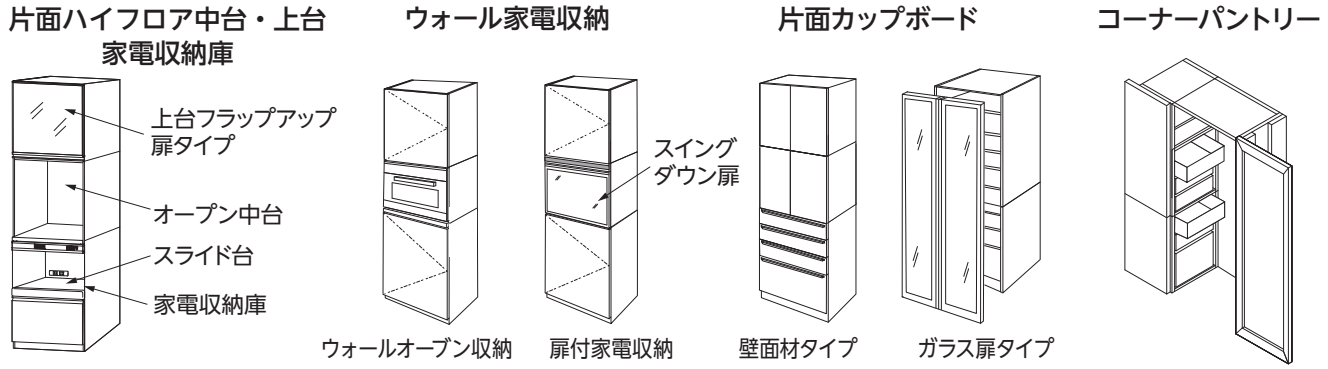
間口 75、90㎝のリサイクルゴミワゴンには、ポリ袋を固定するのに便利なポリ袋ストッパーがついています。

1. ポリ袋ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせる。
2. ポリ袋ストッパーを上に引っ張って外す。
3. 右図のようにポリ袋を広げて、袋の端をはさむようにポリ袋ストッパーで止める。



7.3. 片面フロア・片面ハイフロア・片面カップボード・コーナーパントリー

- 家電収納庫には、電気炊飯器、電気ポットを置くことができます。
  扉付家電収納の場合は扉ですっきり隠したまま湯沸しや炊飯をすることができます。
- 片面ハイフロアオープン中台には、電子レンジを置くことができます。
- 片面ハイフロア上台のフラップアップ扉には、扉を全開にしなくても開けた位置で止まるフリーストップ機能がついています。
- ウォールオーブン収納には指定機種のオーブンを置くことができます。
- カップボードはその他の周辺収納のアイテムとデザインを合わせてレイアウトできる食器収納です。
- コーナーパントリーはキッチン角のスペースを有効的に活用できる便利な大型収納です。食器や食材を収納できます。



使用上の注意

必ず実行

キャビネット内部に水滴がついた場合は、すぐに拭き取る。

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。

●ウォール家電収納

禁止

キャビネット下台の引出しや扉を開いた状態でスイングダウン扉やオーブンの扉を開閉しない。

扉や引出しとスイングダウン扉やオーブンの扉がぶつかり、破損する恐れがあります。

●家電収納庫・扉付家電収納

禁止

家電の電源コードをスライド台のレールに、はさまない。

断線、感電の原因になります。

禁止

スライド台を手前に引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。

●片面ハイフロアオープン中台

必ず実行

オーブンレンジ・電子レンジの設置の際には、離隔距離を守って設置する。

レンジからの熱により、キャビネットが傷む恐れがあります。離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。

使い方

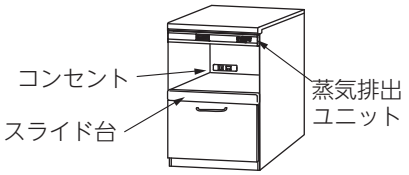
家電収納庫の使い方

- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントは1口 1480W 以下の器具がご利用できます。
- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときや手前まで引き出したときに炊飯器等の家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。

注 意 スライド台は、ガス炊飯器や電子レンジを置かないでください。

●扉付家電収納の使い方

- キャビネットについているスイングダウン扉を閉めた状態で、炊飯・沸騰ができます。
- 蒸気排出ユニットのファンは自動で作動しますが、異常高温を検知した場合は、電気を遮断します。



片面ハイフロアオープン中台の使い方

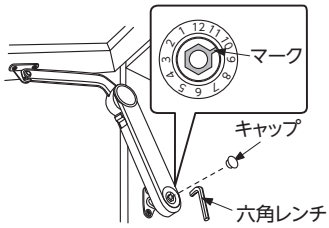
- 片面ハイフロアオープン中台に電子レンジなどを置く場合は、天面・後面・両側面に器具指定の空間を設けてください。
- 付属のコンセントは1口 1480W 以下の器具がご利用できます。

フラップアップ扉の調整のしかた

付属の六角レンチを調整部品に差し込み、回して調整する。

- 扉のフリーストップ機能が効かなくなってきた場合、数字を大きい方に合わせる。
- 扉が上方に跳ね上がってしまう場合は、数字を小さい方に合わせる。

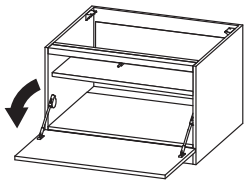
MEMO 調整後、六角レンチは取扱説明書とともに保管してください。



扉サイズ(mm)		ダンパー
幅	高さ	初期設定
600	500	1
	700	3
750	500	4
	700	5
900	500	8
	700	4

7.4. リビング収納

- リビングの意匠をキッチンや周辺収納と統一することができます。
- 配線加工をした場合は、カウンターから配線を通すことができ、テレビ台としてもお使いいただけます。
- ガラス扉の場合は、扉を閉じたままリモコンの操作が可能です。



使用上の注意

禁止

開いた扉の上やカウンターに体重をかけない。

扉が落下したり、キャビネットが破損して、ケガをする恐れがあります。

必ず実行

扉を開けるときは手を添えて開ける。

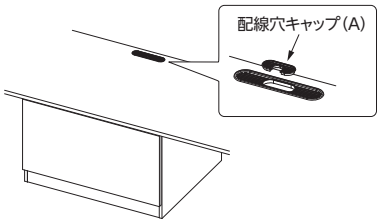
急に扉が手前に飛び出る恐れがあります。

使い方

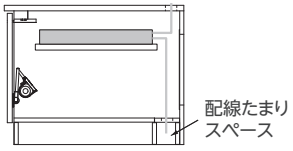
配線の通し方

- 配線加工をした場合、カウンターから配線を通すことができます。

MEMO
- 配線穴キャップ (A) は必要に応じて取り外してお使いください。
- 配線穴キャップには空気穴が設けられています。収納する機器によっては、上部に配線穴キャップがあるキャビネット内に収納することをお勧めします。

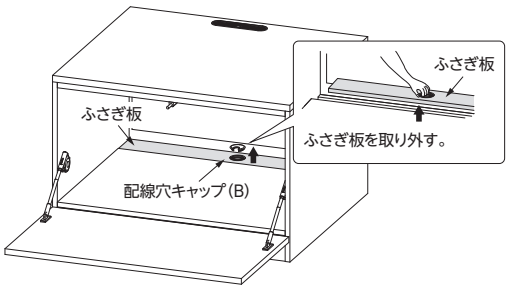


- キャビネット間には配線通し用の穴が開いています。キャビネットを通して配線したい場合にお使いください。また余った配線は、配線たまりスペースに収納できます。



ふさぎ板の外し方

1. 棚板を外す。
2. ふさぎ板についている配線穴キャップの穴を使って、ふさぎ板を外す。
3. 配線を配線穴キャップに通して、ふさぎ板を取り付ける。

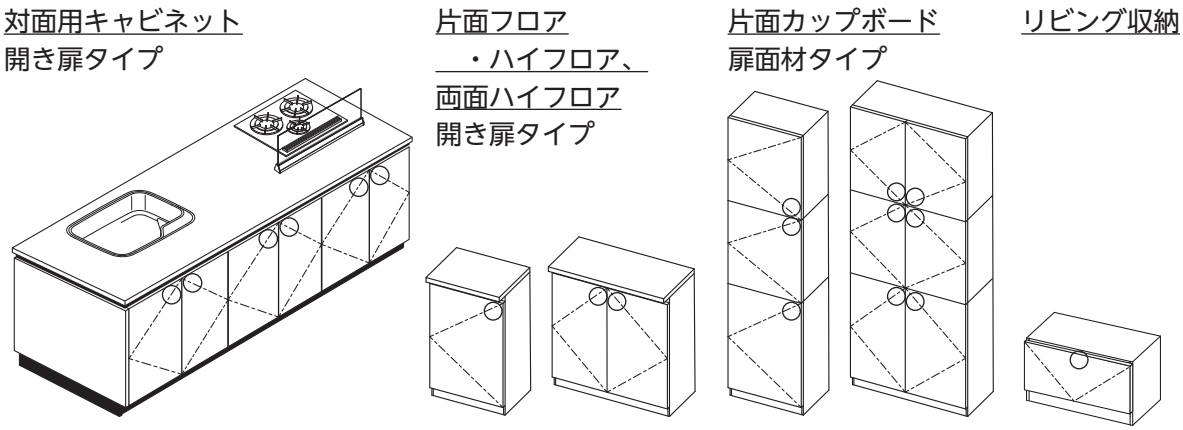


MEMO 配線穴キャップ (B) は必要に応じて取り外してお使いください。

8.1. プッシュラッチ・扉開放防止商品

プッシュラッチ

下図の○付近を押すと、扉が開きます。



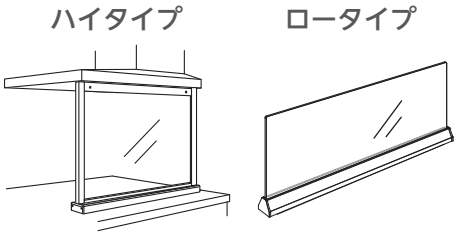
MEMO 押す場所やプッシュラッチの出代によっては、開閉しにくい場合があります。
○付近を押しても開閉しにくい場合は、P.49「プッシュラッチの調節のしかた」を参照し、プッシュラッチの出代を調節してください。

扉開放防止部品付キャビネット（オプション）の使い方

- 扉開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象になりません。
- 地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。自動的にロックが解除されます。その際、収納物が落下しないように十分ご注意ください。

9.1. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。



使用上の注意

禁止

金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。

お手入れのしかた

汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。

9.2. 照明器具

使用上の注意

接触禁止

照明器具は、使用中、使用直後は照明の表面温度が高くなっているので、素手で触らない。

やけどする恐れがあります。

禁止

LED 照明を長時間直視しない。

LED 照明は輝度が高く、指向性が強いため、目を傷める恐れがあります。

禁止

LED 照明を取り外したり、分解したりしない。

器具の破損や火災の恐れがあります。

LED 照明について

- LED 照明は、約 4 万時間の点灯で、約 70%の照度になります。
- LED 照明には光りのバラツキがあるため、発光性・明るさが異なる場合があります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。

お手入れのしかた

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6 カ月に 1 回程度）に清掃してください。仕上げに乾いた布でもう一度器具を拭いてください。
- 汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬く絞ってから、拭き取ってください。その後、乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

9.3. 壁パネル・アシストラック

使用上の注意

禁止

パネル部にテープ類や吸盤を取り付けない。

はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。

禁止

パネルに強い衝撃をあたえない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷などの損傷が生じる恐れがあります。

禁止

パネル部は粒子の粗いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れがあります。

禁止

家庭用ワックス、漂白剤・硫酸、塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しない。

変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。

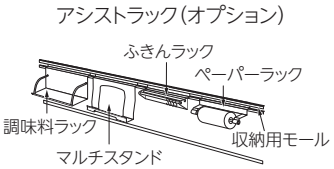
必ず実行

アシストラックを設置するときは、水栓が当たらない位置であることを確認する。

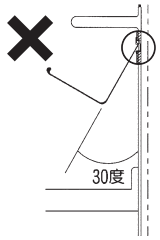
アシストラックや水栓の傷や破損、収納物が落下する恐れがあります。

アシストラック（オプション）の使い方

壁パネルに収納用モールを設置することで、日常使いの調味料や小物が手の届きやすい場所に収納できるアシストラックが取り付けられます。ペーパーラックは幅 28㎝×直径 12㎝以下のキッチンペーパーを収納できます。

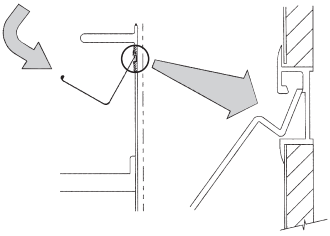


注 意 アシストラックは 30 度以上傾けないでください。30 度以上傾けると、アシストラックが外れやすくなり、落下する恐れがあります。



取り付け方

1. アシストラックの上端の折り返しを、収納用モールの開口部に斜めから差し込む。
2. その状態で本体を下へ降ろす。



お手入れのしかた

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- パネル間の目地はゴミやアカがつきやすいので、こまめに汚れを拭き取ってください。

10.1. Q & A

Q . 排水の流れが悪いです。

A . 次の点をご確認ください。
- シンクの浅型カゴにゴミがたまっていませんか？
- シンクの排水口周りが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参照　部品ごとのお手入れ方法　P.31

- 排水管が汚れていませんか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。

参照　集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点　P.31

Q . 排水口がにおいます。

A . 防臭パイプが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参照　部品ごとのお手入れ方法　P.31

Q . 排水口から " ゴボゴボ " 音がします。

A . 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。

Q . 開き扉がガタつきます。

A . 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？
ねじがゆるんでいる場合は、⊕ドライバーで締めなおしてください。

Q . 引出しがきちんと閉まりません。

A . 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

参照　引出し前板の調整のしかた　P.50 ～ P.51

Q . 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

A . ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。
- 食器などの後片付けは水滴を拭き取ってから収納する。
- 開封した食品は樹脂容器等に入れる。
- ときどき、扉を開放して換気する。

Q . ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

A . お手入れについては以下のページを参照してください。

参照
・ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ　P.26
・美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ・シンクに使用できる洗剤・洗浄具　P.27

Q . ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

A . ①サビた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムをかけて放置します。軽いサビなら 1 日程度で除去できます。

保　証　書

◎ システムキッチン用

シリーズ・品番	CENTRO			出張修理
保　証　期　間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年　　月　　日	

★お客様	ご住所		
	お名前	様　　（　　）	
★販売店	住所 店名	TEL　　（　　）	印 またはサイン

見本

ご販売店様へ　　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
   保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
   (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
   (2) 消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキンなど）の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
   (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
   (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）による故障および損傷。
   (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
   (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
   (7) 瑕疵（かし）によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
   (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
   例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
   (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
   例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。
   ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
   (10) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸，強アルカリ性洗剤など）の使用により、発生した損傷。
   (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
   (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
   (13) 建築躯体（くたい）の変形（強度不足、ゆがみ）など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
   (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用および異常水質による故障および損傷。
   (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
   (16) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
   (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
   (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
   (19) 本保証書のご提示がない場合。
   (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。
したがって、本保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録（年月日、修理内容、修理者名など）については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

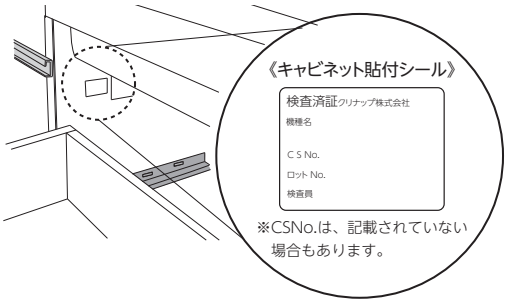
ご相談窓口　：　クリナップカスタマーセンター　TEL　0120-126-174

クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里 6-22-22 〒116-8587 TEL03(3894)4771

修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または下記クリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。
またご連絡いただく際は、シンクキャビネット内に貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロット No. も合わせてお知らせください。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	☎

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

アフターサービスのご用命

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●アフターサービスのご用命

0120-126-174 通話料無料

クリナップカスタマーセンター
ご依頼の際は、以下の内容をお知らせください。
●検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.●症状
●ご購入年月日　●お名前・ご住所・お電話番号

受付時間:
9:00～18:00
*ただし、1月1日(元日)はお休みさせていただきます。
*諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。
あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針はhttp://cleanup.jp/に公表しております。

レンジフードフィルターなどの訪問販売に関するご注意	**クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。**

クリナップ株式会社
東京都荒川区西日暮里 6-22-22 〒116-8587 TEL03(3894)4771

CENTRO　取扱説明書
W102841000
1712B-72-03